

年報

令和2年度事業概要

40

2021



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

「集積された状態の未使用埴輪」発見 (下里見天神前遺跡 高崎市)

下里見天神前遺跡は、前橋市と富岡市を結ぶ西毛広域幹線道路の建設に伴い、令和元年度から令和2年度にかけて発掘調査が実施され、調査の結果、縄文時代から平安時代の集落や古墳、平安時代の水田が発見された。

未使用の埴輪は、古墳の周堀内で発見された。未使用埴輪が出土した古墳は、全体の六分の一ほどの調査範囲で全体像は不明である。古墳の規模は、周堀外側の直径が約20mで、円墳と推定される。周堀の幅は1.1m～1.5m、深さは0.5m～0.6mであった。周堀の内側には墳丘の盛土が残っており、墳丘裾部の盛土上面に、円筒埴輪が約30cmの間隔で樹立されていた。樹立埴輪は、埋設された基底部分が樹立された位置を保っているのみで、他は割れて散乱した状態であった。このため、全体形状が把握できる個体は1点のみである。

樹立された埴輪とは別に、周堀内から馬形埴輪1点、人物埴輪1点、円筒埴輪17点、朝顔形埴輪4点、須恵器直口壺と須恵器提瓶各1点が集積されたような状態で出土し、埴輪は周堀内の1.4m×2.2mの範囲に種別ごとに密集状態で並べられ、古墳に樹立した際の配列とは明らかに異なる。また、埴輪が倒れていることから、基底部分を埋設したとも考えられない。加えて、馬形埴輪の轡や鈴、人物埴輪の腕や美豆良が剥落していたことから、埋納したとも考えにくい。これらの埴輪が置かれていた古墳には、すでに埴輪が樹立されているうえ、相方の埴輪の特徴は明らかに異なっている。従って、周堀内に置かれた埴輪は、付近の古墳造営に伴う準備として集積したものの、何らかの事情で樹立されずに残されたものと推定される。その時期は6世紀前葉から中葉頃であろう。当然のことながら、埴輪を集積した周堀を伴う古墳は、未使用埴輪より若干古いと考えている。

序

当事業団は、昭和53年7月の創立以来、県内の埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財保護思想の涵養と普及を図るとともに、県民文化の振興に寄与してまいりました。

令和2年度の発掘調査は、国土交通省関連で4遺跡、公共事業関連で24遺跡の合計28遺跡の発掘調査を実施いたしました。国土交通省関連の多田山東遺跡では、区画内から大規模な柱穴を持つ特異な掘立柱建物が発見されました。公共事業関連の西上之宮遺跡では、洪水層に埋もれた古墳群が発見され、大型古墳の墳丘上に掘られた中世の土坑から、内面を赤彩した舟形石棺の蓋が出土し、下里見天神前遺跡では、円墳の周堀から馬形埴輪や人物埴輪などが集積された状態で出土するなど重要な発見が相次ぎました。

整理事業は、八ッ場ダム関連で7遺跡、公共事業関連で16遺跡の合計23遺跡を実施し、八ッ場ダム関連で6冊、公共事業関連で12冊の合計18冊の調査報告書を刊行いたしました。金井下新田遺跡では、地域首長の拠点施設みられる囲い状遺構や祭祀遺構などの6世紀初頭の榛名山の火山噴出物に埋もれた遺構・遺物について報告しました。また、高崎競馬場遺跡では、弥生時代中期の環濠集落や人物土器などの特異な出土遺物について報告しました。

普及啓発事業では、新型コロナウイルス感染症対策のため、行事の延期や中止を余儀なくされましたが、講座のDVDによる配信の新しい情報発信に取り組みました。

当事業団は、これからも発掘調査、整理事業及び普及啓発事業を積極的に進め、県民文化の振興と発展に邁進してまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力を心からお願い申し上げます、序といたします。

令和4年2月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 向田忠正

例 言

1. 本年報は、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の令和2年度の事業概要をまとめたものである。
2. 付篇は、県及び県内各市町村教育委員会の協力によって作成された資料に基づいて、当事業団年報紀要委員会が編集した。
3. 本年報の編集は、当事業団年報紀要委員会が行った。その構成は以下の通りである。
委員長：桜岡正信(副事業局長(調査部長))
年報委員：石川真理子(資料2課専門員(主任))
鈴木佑太郎(資料3課専門員)
板垣詩乃(普及課専門員)
事務局：齊田智彦(資料2課主任調査研究員・資料統括)
鈴木和人(総務部経理課主幹(主任))

凡 例

各遺跡の調査概要中に記載する火山噴出物などの名称と年代は以下の通りである。

- ・天明泥流：天明3(1783)年の浅間山噴火に伴う火山泥流
- ・As-A :天明3(1783)年降下 浅間Aテフラ
- ・As-Kk :大治3(1128)年降下 浅間粕川テフラ
- ・As-B :天仁元(1108)年降下 浅間Bテフラ
- ・Hr-FP :6世紀中葉降下 榛名二ツ岳伊香保テフラ
- ・Hr-FA :6世紀初頭降下 榛名二ツ岳渋川テフラ
- ・As-C :3世紀末降下 浅間Cテフラ
- ・As-YP :1.6万年前降下 浅間板鼻黄色テフラ
- ・As-BPGroup :2.4~2.8万年前降下 浅間板鼻黄色テフラ群

目 次

序	
I 事業団の概要	
1 設立の趣旨	1
2 目的	1
3 沿革	1
4 組織・名簿	2
5 理事会及び評議員会などの開催状況	4
6 令和2年度主要行事	6
7 会計経理の状況	6
II 事業概要	
1 発掘調査事業概要	7
(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査	7
(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査	7
2 整理事業概要	9
(1) 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理	9
(2) 公共開発関連埋蔵文化財調査整理	9
3 普及事業概要	11
(1) 資料と施設の公開	11
(2) 指導者の派遣	15
(3) 情報誌などの刊行	16
(4) 資料の保存	17
III 研究活動概要	17
1 令和2年度職員自主研究活動指定研究	17
IV 各遺跡の発掘調査概要	18
V 付篇	49
1 令和2年度群馬県内発掘調査一覧	49
2 令和2年度群馬県内整理事業一覧	55
3 令和2年度群馬県内発掘調査報告書一覧	59
4 令和2年度群馬県内発掘調査現地説明会・ 関連行事など一覧	64

I 事業団の概要

1 設立の趣旨

歴史的に古代東国文化の中心であった本県には、著名な古墳を中心に多くの遺跡が存在する。特に、我が国の旧石器文化の研究の端緒になった岩宿遺跡、1万3千基にも及ぶとされる古墳の濃密な分布など、本県文化の特徴を物語る遺跡の存在は県民にとって大きな誇りであり、これら文化財を共有の財産として保護し、後世に伝えていくことは、我々の責務である。

しかし、一方では、県民生活の安定向上をはかるための施策として、各種の開発や交通網の整備などが昭和48年度以降急激に増加した。その結果、開発と文化財保護が大きな課題となり、その対応が急務となった。

こうした背景の下で、文化財保護法の理念に基づき、開発と文化財保護の調和を図るための施策の一環として、昭和53年度に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された。

平成18年6月「公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律」の施行を受けて、平成24年度から公益財団法人へ移行した。

2 目的

県内の埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想の涵養と普及を図り、もって地域の文化の振興に寄与する。

3 沿革

- 昭和53年7月15日 財団法人法人設立認可(事務局を前橋市に設置、業務開始)
- 昭和55年4月8日 事務局を勢多郡北橋村に移転
- 昭和59年4月1日 分室を勢多郡北橋村大字下箱田(現渋川市北橋町下箱田)627番の1に設置
- 昭和61年4月1日 関越道上越線調査事務所を多野郡吉井町に設置
- 平成5年3月30日 事務局分室を勢多郡北橋村大字下箱田(現渋川市北橋町下箱田)650番の8に移転
- 平成6年3月31日 関越道上越線調査事務所を閉所
- 平成8年7月1日 発掘情報館開館
- 平成13年4月2日 東毛調査事務所を伊勢崎市に設置
- 平成14年4月1日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡中之条町に設置
- 平成15年6月1日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡長野原町に移転
- 平成17年4月1日 岩神分室を前橋市に設置
- 平成18年2月20日 市町村合併により住所表示変更(渋川市北橋町下箱田)
- 平成18年3月31日 東毛調査事務所を閉所
- 平成19年1月28日 岩神分室を閉室
- 平成24年3月31日 分室を閉室
- 平成24年4月1日 公益財団法人設立及び財団法人解散登記申請・移行
- 平成28年12月21日 八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡東吾妻町に移転
- 平成30年7月14日 創立40周年記念式典を挙行
- 令和3年3月31日 八ッ場ダム調査事務所を閉所

4 組織・名簿

令和3年3月31日現在

ア 役員 総数10名(理事8名、監事2名)

令和2年6月26日就任

役員名	氏名	備考
理事長	向田 忠正	学識経験者
常務理事	高草木方孝	学識経験者
理事	山岸 裕美子	群馬医療福祉大学社会福祉学部教授
理事	曾我 孝之	県商工会議所連合会会長
理事	石川 克博	学識経験者
理事	茂木 和弘	一般財団法人群馬経済研究所常務理事
理事	神保 侑史	学識経験者
理事	右島 和夫	県歴史博物館特別館長
監事	荒木 伸夫	公認会計士
監事	秋池 武	下仁田町歴史館館長

イ 評議員(総数8名)

令和3年3月9日就任

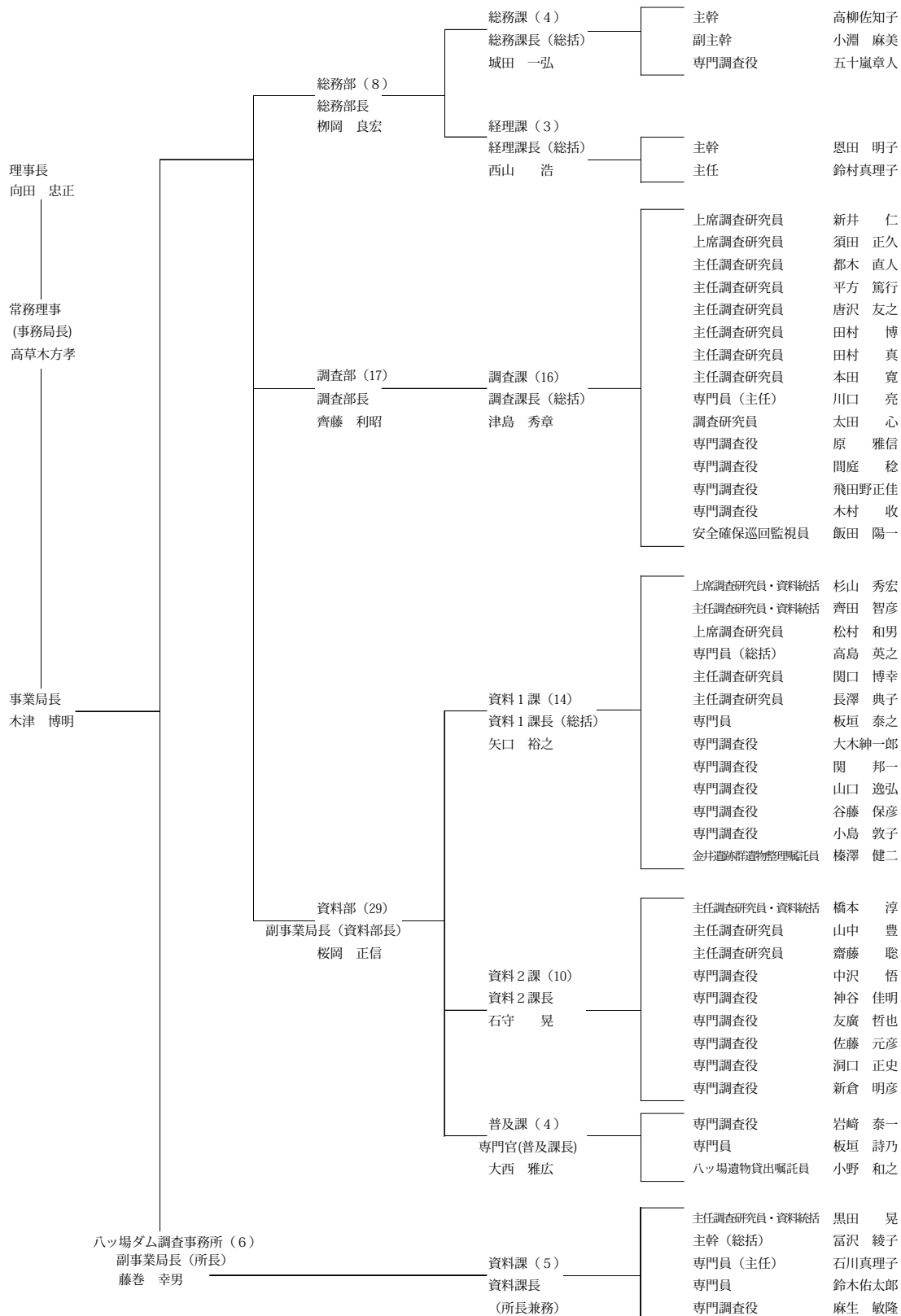
評議員	氏名	備考
評議員	関戸 明子	群馬大学共同教育学部教授
評議員	津金澤 吉茂	元事業団常務理事
評議員	浜名 大輔	上毛新聞社編集局文化生活部長
評議員	山田 浩史	群馬テレビ報道局局次長兼報道部長
評議員	田部 井俊勝	ぐんま共済協同組合理事長
評議員	西野 壽章	高崎経済大学教授
評議員	久保田 順一	県文化財保護審議会専門委員
評議員	植松 啓祐	群馬県地域創生部文化財保護課長

ウ 特別顧問(総数9名)

役員名	氏名	備考
特別顧問	佐藤 信	元理事
特別顧問	小野 宇三郎	元理事長
特別顧問	高橋 勇夫	元理事長
特別顧問	森田 秀策	元理事
特別顧問	峰岸 純夫	元理事
特別顧問	須田 榮一	元理事長
特別顧問	井上 唯雄	前評議員
特別顧問	松本 浩一	前評議員
特別顧問	中野 三智男	前理事長

エ 事務局 理事長以下63名(嘱託職員を含む)

(令和3年3月31日現在)



5 理事会及び評議員会などの開催状況

会議名	開催日 開催場所	現在数 出席者	議案
第137回 定例理事会	令和2年6月5日 書面開催	現在数 8 出席者 8 監事出席 2	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について 2 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 3 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 4 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 5 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 6 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第64回定時評議員会に係る「みなし決議」について 8 報告事項 (1)専決処分の報告について ア 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について イ 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団就業規程の一部改正について ウ 派遣職員就業規程の一部改正について
第64回 定時評議員会	令和2年6月26日 書面開催	現在数 8 出席者 8	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 2 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 3 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 4 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 5 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 6 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員の選任について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員の選任について

会議名	開催日 開催場所	現在数 出席者	議案
			8 報告事項 (1)令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について (2)専決処分報告について 令和元年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について
第140回 理事会	令和2年10月27日 群馬県立歴史博物館	現在数 8 出席者 7 監事出席 2	1 報告事項 (1)第136回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況について (2)発掘調査に係る状況報告について
評議員・理事 監事・特別顧問 合同現地視察	令和2年10月27日	参加者 15	1 群馬県立歴史博物館視察
第141回 理事会	令和3年3月2日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 8 監事出席 2	1 令和2年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和3年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和3年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団組織規程の一部改正について 5 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第65回評議員会の招集について
第65回 評議員会	令和3年3月9日 発掘情報館研修室	現在数 8 出席者 8	1 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団定款の変更について 2 令和2年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 3 令和3年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 4 令和3年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 5 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員の選任について

6 令和2年度主要行事

4月1日	辞令交付式・雇用書交付式
6月11日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会(W E B開催)
7月4日	ぐんま考古学講座(次年度に延期)
7月17日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会(メールなど開催)
8月2日～8月23日	夏休み親子宿題教室(中止)
9月15日	埋蔵文化財専門講座(行政コース)開講
10月29日	埋蔵文化財専門講座(教員コース)開講
12月18日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会(紙面開催)
3月31日	退職辞令など交付式

7 会計経理の状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

ア 決算額

(単位：円)

	当年度	前年度
経常収益	1,993,043,354	1,849,484,909
経常費用	1,943,504,525	1,831,226,599
経常外収益	0	0
経常外費用	1,745,909	196,756
税引前当期正味財産増減額	47,792,920	18,061,554

Ⅱ 事業概要

1 発掘調査事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 国土交通省

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
一般国道17号(道の駅「(仮称)まえばし」)建設	1	関根横田遺跡 (前橋市0008遺跡)	前橋市関根町	縄文時代、奈良・平安時代の土器	1	704	令2.4.1～令2.4.30
一般国道50号(前橋笠懸道路)建設	2	多田山東遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	縄文時代～奈良時代の土器及び石器・石製品、中近世の陶磁器	12	8,475	令2.4.1～令3.9.30
	3	今井北原遺跡	伊勢崎市赤堀今井町			6,755	令2.4.1～令3.9.30
	4	柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	縄文時代～奈良時代の土器及び石器・石製品、中近世の陶磁器など	24	8,767	令3.1.1～令3.3.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 群馬県土木整備部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
上信自動車道 吾妻東バイパス	5	厚田中村遺跡	吾妻郡東吾妻町大字厚田	縄文時代～近世の土器・陶器など	7	12,856	令2.7.1～令2.12.31
	6	小田沢遺跡	吾妻郡東吾妻町大字植栗	縄文時代～近世の土器・石器・金属製品・木製品など	29	7,690	令2.8.1～令2.12.31
	7	下泉A遺跡					
	8	下泉B遺跡					
(一)植栗伊勢線補助公共道路改築	9	植栗中原遺跡	吾妻郡東吾妻町大字植栗	縄文時代～中近世の土器・石器	16	9,356	令2.4.1～令2.11.30
	10	小湊沢B遺跡					
	11	植栗山根A遺跡					
(主)昭和インター線(森下工区)バイパス	12	森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下	古墳時代～平安時代の土器、古代の鉄製品、中近世の陶磁器・石製品	9	1,840	令2.6.1～令2.7.31
(一)南新井前橋線(2期工区)道路改築	13	前橋市0107遺跡	前橋市池端町	縄文時代～平安時代の土器・石器、中近世の陶磁器・銅銭	1	809	令2.8.1～令2.9.30
(主)前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路高崎西工区)	14	上芝西龍之宮遺跡	高崎市箕郷町	古代の土器、中近世の陶磁器・鉄製品・銅製品	1	1,407	令2.10.1～令2.10.31
	15	本郷満行原遺跡	高崎市本郷町	縄文時代～平安時代の土器、古代の鉄・銅製品・木製品、中近世の陶磁器	19	1,800	令2.4.1～令2.5.31
	16	本郷広神遺跡	高崎市本郷町	江戸時代の陶磁器・軟質陶器・銅銭	1	2,172	令2.4.1～令2.4.30
	17	上大島御伊勢遺跡	高崎市上大島町				
	18	下里見天神前遺跡	高崎市下里見町	縄文時代～平安時代の土器・石器・金属製品・骨類、埴輪	49	4,980	令2.7.1～令2.9.30
(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路安中富岡工区)	19	宮久保遺跡	安中市上間仁田	縄文時代～弥生時代の土器・石器、中近世の陶磁器	1	4353	令2.4.1～令2.4.30
(国)254号(福島西工区)	20	福島下町・屋敷下遺跡	甘楽郡甘楽町大字福島	弥生時代の土器・石器、江戸時代の陶磁器・軟質磁器・銅銭	19	1,857	令2.5.1～令2.6.30
(一)蚊沼川	21	南蛇井北原田遺跡	富岡市南蛇井・中沢	縄文時代・古墳時代～平安時代の土器・石器・金属製品など	62	2,005	令2.8.1～令2.10.31
(主)下仁田安中倉淵線(上丹生工区)	22	上丹生鷲谷戸遺跡	富岡市上丹生	古墳時代の土器	1	310	令2.7.1～令2.4.31

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺物の年代・種類	コンテナ数	面積㎡	調査期間
(都)前橋長湫線	23	綿貫41遺跡ほか					
		綿貫41遺跡	高崎市綿貫町・岩鼻町	旧石器時代～縄文時代の石器、古墳時代～中近世の土器・陶磁器など	29	3,518	令2.7.1～令2.10.31
		岩鼻47-1遺跡					
		41H02					
		47H03					
47A03							
(主)前橋長湫線現道拡幅	24	綿貫41遺跡	高崎市綿貫町	旧石器時代～縄文時代の石器、古墳時代～中近世の土器・陶磁器など	3	4,154	令2.4.1～令2.6.30
		41H01遺跡					
(一)利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修	25	樋越薬師遺跡	佐波郡玉村町大字樋越	平安時代～近世の土器・陶磁器・石製品・石造物・金属製品	29	8,680	令2.11.1～令3.3.11
	26	西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町	縄文時代～古墳時代～近世の土器・石器・埴輪・陶磁器・石造物・金属製品	174	8,825	令2.11.1～令3.3.11
(主)足利伊勢崎線天良工区歩道整備	27	石橋地藏久保遺跡	太田市石橋町・寺井町	奈良・平安時代の土器・石器など	2	459	令3.2.1～令3.3.31
(主)桐生伊勢崎線阿左美大原工区道路改良	28	阿左美遺跡	みどり市笠懸町阿左美	縄文時代の土器・石器、中近世の陶磁器	28	1,568	令2.4.1～令3.6.30
(主)桐生田沼線	29	桐生新町水路跡	桐生市本町一丁目・二丁目	江戸時代～昭和時代の陶磁器・軟質陶器・銅銭・木製品など	12	27	令3.1.1～令3.3.31
(一)小平塩原線滝ノ上工区道路改良	30	下谷戸B遺跡	みどり市大間々町塩原	縄文時代の土器・石器など	11	100	令2.5.1～令2.5.31

委託者 群馬県警察本部

渋川警察署吹屋交番(仮称)新築	31	吹屋恵久保遺跡	渋川市吹屋	古墳時代の土器・石器	3	165	令2.7.1～令2.7.31
-----------------	----	---------	-------	------------	---	-----	----------------

委託者 群馬県教育委員会

藤岡特別支援学校体育館整備	32	50包蔵地		古墳時代～中世の土器・陶磁器など	1	134	令3.1.1～令3.1.31
---------------	----	-------	--	------------------	---	-----	----------------

コンテナ数544箱
調査総面積 104,975㎡

2 整理事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理

委託者	事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
国土交通省	八ッ場ダム建設工事	1	西宮遺跡	長野原町川原畑	第670集 西宮遺跡(2)・川原畑の宝篋印塔	令2.10.10	報告書刊行業務のみ
		1	川原畑の宝篋印塔	長野原町川原畑			
		2	石川原遺跡	長野原町川原湯	第671集 石川原遺跡(2)	令2.12.23	報告書刊行業務のみ
		2	石川原遺跡	長野原町川原湯			令2.4.1～令3.3.31
		3	西久保IV遺跡	長野原町横壁	第674集 八ッ場ダム発掘調査集成(2)	令3.3.10	令2.9.1～令2.9.30
		3	川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯			令2.8.1～令2.9.30
		3	下湯原遺跡	長野原町川原湯			令2.4.1～令2.6.30
		1	西宮遺跡	長野原町川原畑			令2.7.1～令2.8.31
		4	東宮遺跡	長野原町川原畑	第675集 東宮遺跡(5)・三ツ堂岩陰	令3.3.24	報告書刊行業務のみ
		4	三ツ堂岩陰	長野原町川原畑			
		5	石畑I岩陰	長野原町川原畑	第676集 二社平遺跡・石畑遺跡・石畑I岩陰	令3.3.23	令2.4.1～令3.3.31
		6	東宮遺跡	長野原町川原畑	第677集 東宮遺跡(6)	令3.3.23	令2.4.1～令2.7.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財調査整理

委託者	事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間	
群馬県県土整備部	上信自動車道吾妻西バイパス建設	7	四戸の古墳群	東吾妻町大字三島	第669集 四戸の古墳群	令2.10.16	令2.4.1～令3.3.31	
		8	唐堀遺跡	東吾妻町大字三島	第672集 唐堀遺跡(1) -古墳時代以降編-	令3.2.10	令2.4.1～令3.3.31	
		9	唐堀C遺跡	東吾妻町大字三島	第678集 唐堀C遺跡	令3.3.19	令2.4.1～令3.3.31	
		10	新井遺跡	東吾妻町大字三島			令2.6.1～令3.3.31	
		11	根小屋城跡	東吾妻町大字三島			令2.10.1～令3.3.31	
		12	万木沢B遺跡	東吾妻町大字三島			令2.5.1～令3.3.31	
	(主)渋川東吾妻線(下新田工区)金井バイパス関連	13	金井下新田遺跡	渋川市金井	第683集 金井下新田遺跡 -縄文時代・弥生時代編- 第684集 金井下新田遺跡 -古墳時代以降編-	令3.3.25/ 令3.3.23	令2.4.1～令3.3.31	
		下里見安中線(西毛広域幹線道路 安中工区)	14	吉ヶ谷津遺跡	安中市下秋間	第679集 吉ヶ谷津遺跡(安中市0201遺跡)	令3.3.19	令2.4.1～令3.3.31
			15	米山遺跡	安中市米山	第685集 米山遺跡	令3.3.24	令2.4.1～令3.3.31
	(主)前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路 高崎西工区)	16	本郷満行原遺跡ほか					
			本郷満行原遺跡	高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31	
			本郷広神遺跡	高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31	
本郷西谷津遺跡			高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31		
本郷上ノ台遺跡			高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31		
本郷大力サ遺跡			高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31		
本郷鶴窪遺跡			高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31		
本郷萱原遺跡			高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31		
本郷鳴上遺跡	高崎市本郷町			令2.4.1～令3.3.31				

委託者	事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
群馬県 県土整備部	(都)中央大橋線街路	17	前橋市0149遺跡	前橋市大友町	第673集 前橋市0149遺跡	令3.1.22	令2.9.1～令2.11.30
	(一)南新井前橋線2期 工区改築	18	前橋市0107遺跡	前橋市池端町	第680集 前橋市0107遺跡	令3.3.19	令2.4.1～令3.3.31
	(一)南新井前橋線バイ パス(2期工区)	19	中御所遺跡	吉岡町陣場	第686集 中御所遺跡	令3.3.23	令2.10.1～令3.3.31
	(一)下高尾小幡線(庭谷 工区)	20	後賀中割遺跡	富岡市後賀			令2.4.1～令3.3.31
	(主)前橋玉村線バイパ ス	21	前橋市0946遺跡	前橋市下佐鳥町・ 朝倉町			令2.10.1～令3.3.31
群馬県産 業経済部	コンベンション施設整 備	22	高崎競馬場遺跡	高崎市岩押町	第681集 高崎競馬場遺跡 (1) 第682集 高崎競馬場遺跡 (2)	令3.3.19	令2.7.1～令2.7.31

刊行報告書 合計17冊

3 普及事業概要

(1) 資料と施設の公開

A 資料の利用と貸出

当事業団では、群馬県埋蔵文化財調査センターが所蔵する考古資料の貸出や利用に係る管理事務を群馬県地域創生部文化財保護課より受託している。資料の貸出は、各種の学校教育への利用や博物館などの公的機関による展示公開を目的とした資料借用申請を受けて行われる。また、資料の利用とは、学術研究目的の考古資料の実見、観察、写真撮影、実測などを当センター内において行うことをいう。

令和2年度の実績は以下の表のとおりである。

ア 資料の利用と貸出数

内 訳	貸 出			利 用		
	件 数	写真など	遺 物	件 数	写真など	遺 物
1 博物館・資料館など	27	173	1,267	7		711
2 学 校	2	11	23			
3 地域社会	5	25	3	1		5
4 公的編纂事業				1		35
5 埋蔵文化財行政	21	223	365	19	2	3,022
6 委託者						
7 民間事業所						
8 研究者	5	21	2	13	14	1,167
9 報道関係	8	26				
10 出版社	10	12				
11 行 政	4	41	1			
小 計	82	532	1,661	42	16	4,955
合 計	貸出・利用=124件 / 写真など548点 / 遺物6,616点					

イ 資料の主な貸出先

貸 出 先	期 間	企画など	主な貸出資料
NPO法人むきばんだ応援団	令2.4.13～ 令12.3.31	WEBサイト全国子ども考古学教室に掲載	上白井西伊熊・有馬・金井東裏遺跡写真データ
渋川市立伊香保小学校	令2.7.5～ 令2.7.10	6年生社会科授業で使用	学校貸出資料
渋川市教育委員会	令2.7.15～ 令2.7.31	金井東裏遺跡保存区内に設置する看板に掲載	金井東裏遺跡写真データ
テレビマンユニオン	令2.7.28～ 令2.8.1	世界ふしぎ発見!(令2年8月1日放送)で使用	金井東裏・荒砥北原遺跡写真データ
群馬県立歴史博物館	令2.8.7～ 令2.12.6	第102回企画展「空からゲンマを見てみよう」で使用	高崎城遺跡写真データ
岩宿博物館	令2.8.25～ 令3.1.15	第72回企画展「岩宿時代の円形のムラ」に展示	下触牛伏・白倉下原遺跡ほか出土資料
株式会社昭文社	令2.10.1～ 令2.11.27	『群馬のトリセツ』に掲載	金井東裏遺跡写真データ
株式会社学研プラス	令2.9.28～ 令3.2.28	『学研まんがDVD付きNEW日本の歴史』に掲載及び電子書籍に転載	有馬遺跡写真データ
前橋市教育委員会生涯学習課	令2.11.6～ 令2.11.13	公民館主催講座「寺子屋」で使用	学校貸出資料・ドキドキセット
那珂川町なす風土記の丘資料館	令2.11.25～ 令2.12.5	特別陳列えと展「丑を考古学する」で使用	二之宮宮下東遺跡写真データ

B 施設の利用

ア 施設の見学など

令和2年度における発掘情報館の見学や研修などの来館者総数は4,839人を数え、うち日曜開館時の来場者は1,512人であった。

新型コロナウイルス感染症対策のために臨時休館した期間もあり、開館日数は241日となった。毎年開催している「夏休み親子宿題教室」など様々な行事を中止、延期した。

月別の来場目的別来場者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
見学	0	24	257	232	1,582	511	436	305	149	118	173	249	4,036
資料調査など	0	0	10	35	7	25	13	12	29	5	2	14	152
行政視察	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	7	0	12
研修	0	0	0	0	0	17	12	0	0	0	0	0	29
学校・教委	0	0	4	16	8	2	75	108	13	4	19	10	259
図書	0	0	6	36	51	29	36	44	35	43	37	34	351
計	0	24	277	1,969	1,648	584	572	469	226	170	238	307	4,839

イ 図書室の利用

図書の利用状況は、貸出数2,145冊、利用者数241人であった。新規図書受入数は2,373冊であり、蔵書総数は129,447冊となった。図書室の配架状況はひっ迫しつつある。新型コロナウイルス感染症対策のため、一般利用者は月・金・日の事前予約制とした。

貸出状況

内部貸出	332件	1,047点
外部貸出	241件	1,096点
貸出総数	573件	2,143点

図書など登録状況

新規登録数	2,373点	
登録内訳	移管	179点
	寄贈	1,913点
	購入	281点
収蔵量	129,447点	

図書室収蔵量の推移

事業年度	累計点数	増減分
平成28年度末	119,624点	2,977点
平成29年度末	122,296点	2,672点
平成30年度末	124,733点	2,437点
令和元年度末	127,075点	2,342点
令和2年度末	129,447点	2,373点

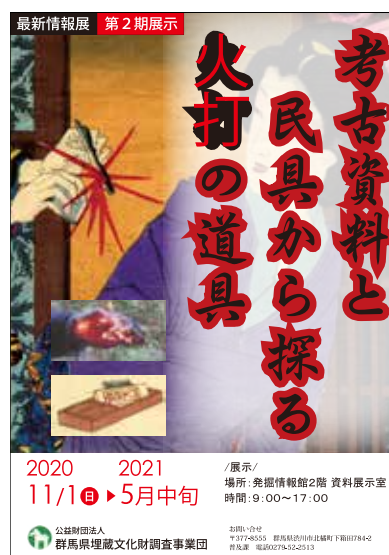
新規収蔵資料の概要

埋蔵文化財発掘調査報告書	62.62%
市町村誌など	0.13%
一般文化財・民俗関係	0.72%
埋蔵文化財・考古学に関連する雑誌類および各機関の紀要・年報・ニュースレターなど	30.55%
埋蔵文化財・考古学および歴史などに関連する単行本・全集・展示図録など	5.35%
辞典・図鑑・地図など	0.63%

C 行事

ア 最新情報展

期 間	令和2年4月19日(日)～令和3年3月31日(水) ※令和2年3月8日(日)～5月28日(木)新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館資料展示室
展 示	第1期 「きらめく武具を身に着けてー金井東裏遺跡ー」 期 間：令和2年4月19日(日)～10月18日(月) (参加者3,185人) 関連講座：令和2年6月28日(日)「金井東裏遺跡 きらめく武具を身に着けて」 講師：板垣詩乃 中止
	第2期 「考古資料と民具から探る 火打の道具」 期 間：令和2年11月1日(日)～令和3年5月9日(日) (参加者1,410人(令和2年度のみ)) 関連講座：令和3年3月14日(日)「火打金と火打石から火打具へ」 講師：大西雅広 延期



イ 埋蔵文化財専門講座

期 間	令和2年9月15日(火), 10月29日(木)	
主 催	群馬県地域創生部	
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館研修室	
対 象	①県内公立学校に勤務する教員 ②市町村教育委員会の文化財関係職員	
内 容	①埋蔵文化財の調査成果を年間の学習指導計画の中に取り入れて学校教育の展開に幅を持たせ、地域の身近な教材を活用する視点の育成と基礎知識の充実を図る。 ②埋蔵文化財の知識と技術を研修し、市町村の埋蔵文化財と調査体制及び学校教育と生涯学習の資質向上に資する。	
① 教員コース	10月29日(木)	開講式 講義1:授業で使える埋蔵文化財Ⅰ 講義2:授業で使える埋蔵文化財Ⅱ 発掘情報館の見学 飯森康広(県地域創生部文化財保護課)・木津博明 長澤典子 宮下 寛(県地域創生部文化財保護課) 板垣詩乃
② 埋蔵文化財担当者コース	9月15日(火)	開講式 講義1:補助金事務の取扱い 講義2:報告書作成に関するデジタル編集の基礎知識 講義3:脆弱遺物の取扱い 飯森康広(県地域創生部文化財保護課)・木津博明 石田 真(県地域創生部文化財保護課) 齊田智彦 板垣泰之



①教員コース



②埋蔵文化財担当者コース

ウ 埋蔵文化財講座

期間・時間	令和2年11月受付開始 令和3年3月DVD発送
主催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
内容	3回の録画DVDによる有料講座(定員100名)
テーマ	ぐんま発掘玉手箱シリーズ7
第1回	①「新資料発見から見えてきた吾妻郡の古墳時代」 講師：杉山秀宏
第2回	②「吾妻郡の中世史 ー中世城館遺跡から読み解くー」 講師：吉田智哉(東吾妻町教育委員会)
第3回	③「災害を語り継ぐ ー天明3年浅間噴火の記憶ー」 講師：関 俊明(嬬恋郷土資料館)
参加者	55名

エ 発掘調査現地説明会など

遺跡名	期間	場所	来場者	内容
森下宮原遺跡	令和2年6月25日(水)	昭和村森下宮原遺跡	13人	Hr-FP下古代集落(村長・教育長ほか視察)
南蛇井北原田遺跡	令和2年9月2日(水)	富岡市南蛇井北原田遺跡	23人	奈良・平安時代の集落(富岡市立吉田小6年生ほか)
樋越薬師遺跡	令和3年1月22日(金)	玉村町樋越薬師遺跡	10人	天明泥流下の畑・墓(玉村町文化財解説員)
西上之宮遺跡	令和3年1月28日(木)	玉村町西上之宮遺跡	5人	中世の墓地と古墳



南蛇井北原田遺跡

オ その他

甘楽パーキング(上り線)展示施設及びGメッセ1階フロア展示ケース内の展示替えを行った。



甘楽パーキング(上り線)展示施設



Gメッセ群馬1階フロア展示ケース

※「ぐんま考古学講座」は、新型コロナウイルス感染症対策のため次年度に延期した。「大人のための古代体験教室」、「土器・土偶をつくる 焼く(野焼き体験)」は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。

(2) 指導者の派遣

学校への体験学習の派遣

実施日	学校	内容	学年	人数
9月11日	前橋市立月田小学校	勾玉づくり	小学6年生	23人
12月14日	渋川市立伊香保小学校	勾玉づくり	小学6年生	16人
合計				39人

(3) 情報誌などの刊行

A 『年報』39 令和3年1月31日発行(当事業団ホームページに掲載)

号	頁	内容
36	1	I 事業団の概要 1 設立の趣旨 2 目的 3 沿革 4 組織・名簿 5 理事会及び評議員会などの開催状況 6 令和元年度主要行事 7 会計経理の状況
	7	II 事業概要 1 発掘調査事業概要 2 整理事業概要 3 普及事業概要
	20	III 研究活動概要 1 職員自主研究活動指定研究
	21	IV 各遺跡の調査概要
	55	V 付篇 1 令和元年度群馬県内発掘調査一覧 2 令和元年度群馬県内整理事業一覧 3 令和元年度群馬県内発掘調査報告書一覧(事業団分含む) 4 令和元年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事など一覧

B 『研究紀要』39 令和3年3月16日発行

号	頁	論 文 名	執 筆 者
39	1	後期旧石器時代の古環境変遷とテフラ年代研究の現状—群馬県萩原遺跡の分析結果を中心に—	小原俊行・鈴木 茂 ・関口博幸
	21	群馬県出土の縄文時代土製耳飾り—中期から後期前半—	谷藤保彦
	41	群馬県の墓制 —弥生時代後期の位置づけ—	友廣哲也
	59	金井東裏遺跡3号祭祀遺構の再検討	杉山秀宏
	79	墨書・刻書土器の動向から見た古代上野国吾妻郡の歴史的展開について	高島英之
	99	一点だけでも「こも編み石」に認定できるか？	石守 晃
	119	江戸時代の出土金属製品の材質分析について—天明泥流により被災した煙管を中心に—	板垣泰之

事業概要



C 『埋文群馬』66 令和3年3月31日発行(当事業団ホームページに掲載)

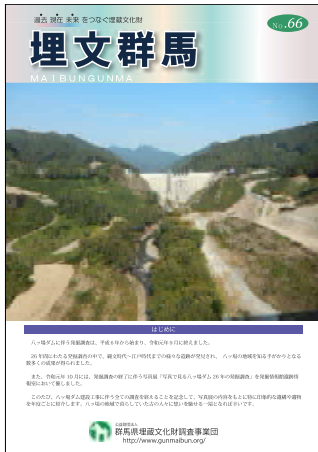
号	頁	内 容	執 筆 者
66	1	はじめに	普及課
	2	発掘遺跡調査一覧	
	3	発掘調査遺跡位置図	
	4	発掘調査年度一覧	
	5	調査前航空写真	
	6~31	平成6年～ 発掘調査遺跡紹介	
	裏表紙	掲示板 普及課からのお知らせ 表紙解説	

D 『遺跡に学ぶ』44 令和3年3月31日発行(当事業団ホームページ「発掘情報館」→「遺跡に学ぶ」に掲載)

号	頁	内 容	執 筆 者
41	2	1783(天明三)年の浅間の大噴火	普及課
	3	発掘調査で発見された238年前の畑や建物	
	4・5	発掘調査で発見された238年前の生活用具など	
	裏表紙	あとがき 普及課からのお知らせ 表紙解説	

E ホームページの運営

当事業団ホームページでは、発掘情報館の開館状況や、発掘調査・整理遺跡の最新情報を掲載して情報発信に努めた。



(4) 資料の保存

保存処理の仕事

対象	作業項目	対象遺跡	数量
金属製品	金属製品クリーニング作業	15遺跡	1,104点
	X線写真撮影	25遺跡	350点
木製品関係	木製品真空凍結乾燥処理	5遺跡	492点
	樹種同定	0遺跡	0点
特殊遺物	特殊遺物精査	3遺跡	9件
	脆弱遺物クリーニング	2遺跡	2件
遺物修復	金属製品修復	3遺跡	3件
	脆弱遺物強化処理	6遺跡	11件
現場対応	遺物取り上げ	1遺跡	1件
市町村対応	金属製品クリーニング	0遺跡	0点
	X線撮影	0遺跡	0点
	赤外線写真撮影	1遺跡	1件
	遺物保管指導	1遺跡	1件
合計		62遺跡	1,974件

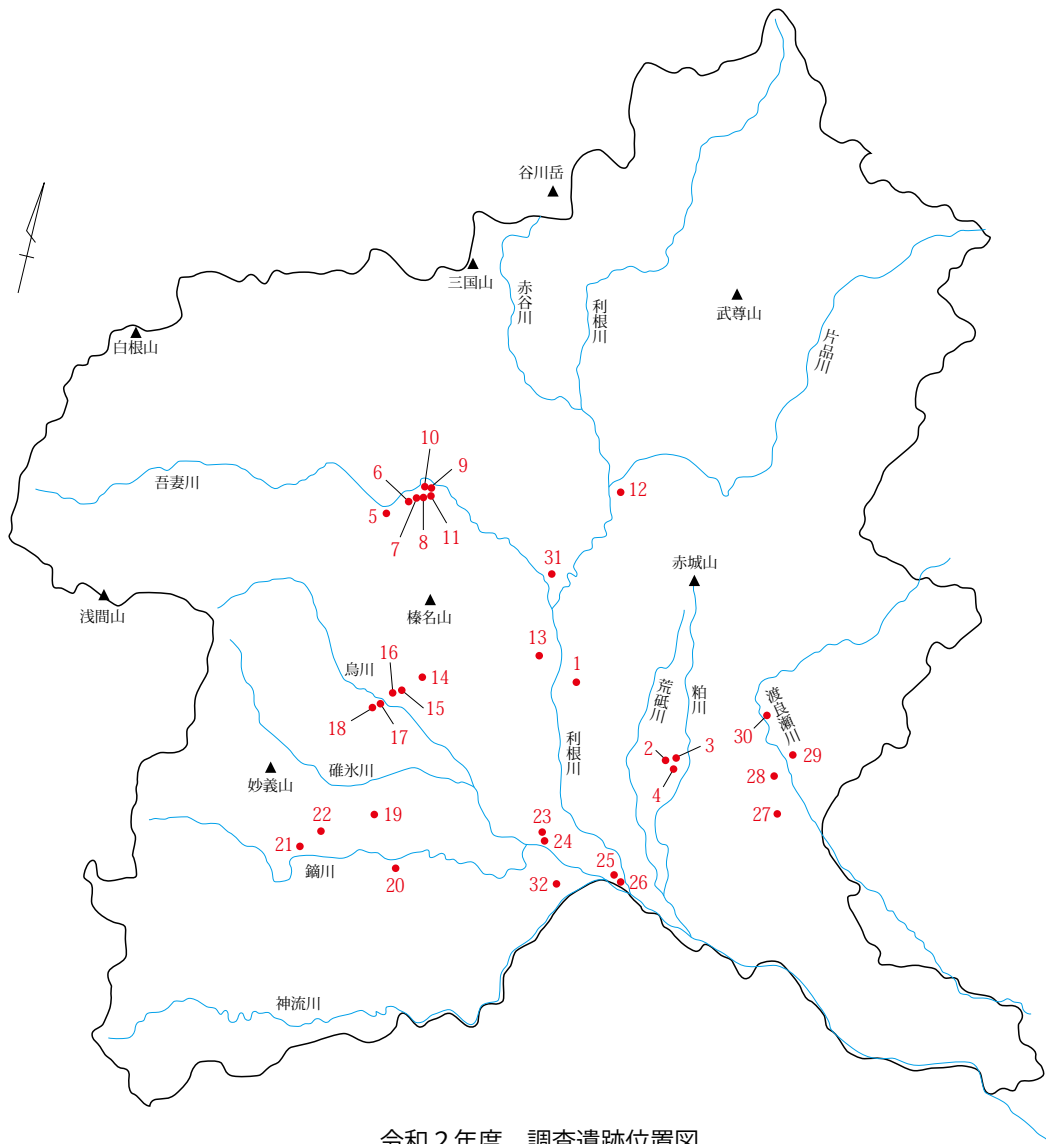
Ⅲ 研究活動概要

1 令和2年度職員自主研究活動指定研究

令和2年度の職員自主研究活動事業の指定は下記のとおりであった。

No.	氏名	研究課題
1	関口博幸	関東地方北西部における縄文文化から弥生文化への変遷過程の研究

IV 各遺跡の発掘調査概要



令和2年度 調査遺跡位置図

- | | | |
|------------|---------------|-------------------|
| 1 関根横田遺跡 | 12 森下宮原遺跡 | 23 綿貫41遺跡ほか |
| 2 多田山東遺跡 | 13 前橋市0107遺跡 | 24 綿貫41遺跡・41H01遺跡 |
| 3 今井北原遺跡 | 14 上芝西龍之宮遺跡 | 25 樋越薬師遺跡 |
| 4 柳田遺跡 | 15 本郷満行原遺跡 | 26 西上之宮遺跡 |
| 5 厚田中村遺跡 | 16 本郷広神遺跡 | 27 石橋地蔵久保遺跡 |
| 6 小田沢遺跡 | 17 上大島御伊勢遺跡 | 28 阿左美遺跡 |
| 7 下泉A遺跡 | 18 下里見天神前遺跡 | 29 桐生新町水路跡 |
| 8 下泉B遺跡 | 19 宮久保遺跡 | 30 下谷戸B遺跡 |
| 9 植栗中原遺跡 | 20 福島下町・屋敷下遺跡 | 31 吹屋恵久保遺跡 |
| 10 小淵沢B遺跡 | 21 南蛇井北原田遺跡 | 32 50包蔵地 |
| 11 植栗山根A遺跡 | 22 上丹生鷺谷戸遺跡 | |

1 ^{せきねよこた} 関根横田遺跡

所在地 前橋市関根町

担当者 須田正久

遺跡の立地

本遺跡は群馬県庁の北東約5km、前橋市関根町、標高133mに位置する。遺跡周辺一帯は水田地帯であり、遺跡の南には上武道路が東西に走る。上武道路建設に伴い調査された田口下田尻遺跡や関根赤城遺跡などからは9世紀から11世紀にかけての集落や製鉄関連遺構など多種多様な遺構が発見されている。

調査の概要

本調査は、令和2年度一般国道17号道の駅「(仮称)まえばし」建設事業に伴う発掘調査で、令和2年4月に実施した。対象面積は704㎡である。調査はAs-Bで被覆した水田面(1面)と水田下面(2面)、Hr-FA面下(3面)、縄文時代から弥生時代までの4面の調査を行った。調査面積が狭く、確認面までの深度が深いため、全面調査を行えたのは1面のみで、2面から4面はトレンチ調査を基本とした。

縄文時代 谷地の縁辺で土坑1基を検出した。

弥生時代 谷の縁辺からまとまって弥生時代中期の土器片が出土している。しかし遺構は確認されなかった。

古墳時代 Hr-FAの一次堆積層は確認できたが、小区画水田などの生産遺構は確認できなかった。

奈良・平安時代 As-B下水田面下の調査では、溝5条を検出した。そのうちの4号溝からは「野」と書かれた8世紀代の墨書土器が出土した。他の溝からも同時期の土器片が出土している。As-Bで被覆した水田面と東西方向に広がる畦を検出した。水田からは工具痕や人や動物足の痕跡は確認できなかった。

中・近世 調査区中部付近を北西から南東方向に、緩やかに蛇行しながら走行するAs-B混土で埋没した溝1条を検出した。遺構外から陶磁器片が数点出土した。

(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



奈良時代の4号溝全景(南西から)



奈良時代の4号溝出土の「野」と書かれた墨書土器



平安時代の水田全景(南西から)

2 多田山^{ただやまがし}東遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 須田正久・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、多田山丘陵の東側、標高約116mの南北に延びる低台地上に立地する。北西には赤堀茶臼山古墳や毒島城、西の多田山丘陵には、今井見切塚遺跡、今井三騎堂遺跡などの遺跡が位置する。

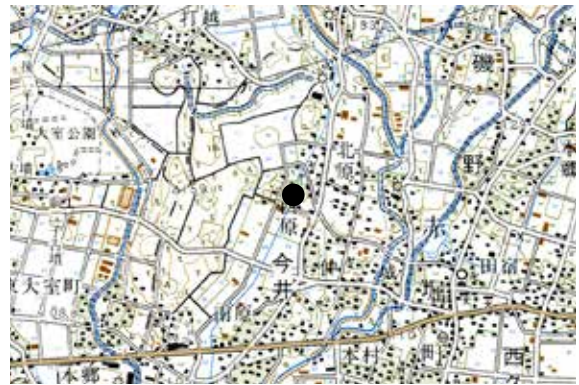
調査の概要

調査は令和2年度一般国道50号(前橋笠懸道路)建設に伴う発掘調査で、対象面積は15,212㎡である。昨年度からの継続調査である。

縄文時代 土坑2基を検出した。遺物包含層中からは、前期から後期の土器の小片が出土している。

古墳時代～奈良・平安時代 竪穴建物3棟・掘立柱建物2棟・竪穴状遺構2棟・方形区画・柱穴列・土坑・溝・ピットを検出した。3棟の竪穴建物のうち1棟は、6世紀代の遺物が床面から出土している。方形区画状遺構は溝によって方形に囲われており、区画内には大型の柱穴をもつ総柱の掘立柱建物(3間×3間)1棟と長方形の掘立柱建物(2間×7間)が発見されている。掘立柱建物2棟については、明確な時期は不明であるが、堆積土、主軸方位や重複する遺構との関係から古墳時代後期に帰属すると考えられる。区画する溝の脇には、柱穴列などが間隔で配置されている。5区からは5世紀末から6世紀にかけての甕や杯などの土師器が数多く出土した溝を確認した。竪穴建物2棟は掘り込みが深く、東側に大型の礫で構築されたカマドを検出した。これらは出土遺物から奈良時代に帰属すると考えられる。3区の一部の範囲でAs-Bで埋没した平安時代の水田や水田耕作に伴う溝が検出されている。

中・近世 掘立柱建物3棟・土坑・溝・ピットを検出した。4区の大溝は4回の改修を繰り返したと考えられ、幅約18m・深さ4mを測る。溝の底面から龍泉窯系青磁片が出土している。(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



古墳時代の掘立柱建物全景(上が北)



古墳時代の方形区画状遺構全景(東から)



中・近世の溝全景(北から)

3 ^{いま い きたはら} 今井北原遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 須田正久・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は多田山東遺跡の東、県道102号線を挟んだ粕川の右岸、標高118m前後に立地する。北西には赤堀茶白山古墳や毒島城などの遺跡が位置する。

調査の概要

本調査は令和2年度一般国道50号(前橋笠懸道路)建設に伴う発掘調査で、対象面積は4,262㎡である。

縄文時代 土坑3基を検出した。遺物包含層中から前期から後期の土器の小片が出土している。

古墳時代～奈良・平安時代 調査区は微高地と低地部分があり、微高地部分から竪穴建物10棟、土坑20基、ピット8基を検出し、低地部分では溝1条を検出した。全ての竪穴建物は、出土遺物から古墳時代に帰属するものと考えられる。カマドを確認できた9棟の竪穴建物は、全て東壁中央部にカマドを備え、白色粘土を袖構築材として使用している。これらの竪穴建物のうち、単独であるものは3棟で、他は2棟、3棟が重複している。また、一部の竪穴建物については、拡張の痕跡が見られるものもあった。48号土坑からは古墳時代の土師器片が出土した。溝1条は堆積土中にHr-FA層があり、遺物も古墳時代の杯などが出土している。この時期の土坑やピットの多くは共伴する遺物がないため時期を明確にはできないが、堆積土などから古墳時代に帰属するものと考えられる。

中・近世 土坑34基(そのうちの2基は井戸)、溝11条、ピット32基を検出した。これらの遺構の堆積土はAs-Bを混在するものである。井戸や溝から陶磁器片などが出土した。

(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



古墳時代の竪穴建物全景(上が東)



古墳時代の土坑全景(南から)



古墳時代の溝全景(南から)

4 やなぎだ 柳田遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 須田正久・田村 博・田村 真
太田 心・飛田野正佳・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は多田山丘陵の東端、標高100m前後の東に向かって緩やかに傾斜する低台地上に立地する。遺跡周辺は水田や畑地として利用されている。北は多田山東遺跡、北西の多田山丘陵には、今井見切塚遺跡、今井三騎堂遺跡などの遺跡が位置する。

調査の概要

本調査は令和2年度一般国道50号(前橋笠懸道路)建設に伴う発掘調査で、対象面積は8,767㎡である。遺跡はこれまで平成29年・30年・令和元年度に調査が実施されており、これまでの調査で古墳時代から古代の竪穴建物が120棟以上が発見されている。また、旧石器時代の文化層も発見されている。

縄文時代 土坑を7基検出した。そのうちの2基からは後期の土器片が出土した。

古墳時代 西側から延びる台地と東側の低地境の緩斜面部分を削平し、東側の谷地部分までを平坦な面に造成したと考えられる開削状遺構や竪穴状遺構を検出した。開削状遺構はどのような目的で造られたのかは不明だが、占地状況からは、水田耕作に伴う何らかの施設と思われる。これら削平した緩斜面の壁周辺からは、縄文時代後期から古墳時代後半にかけての遺物が数多く出土している。土坑を2基検出した。うち1基は南側に石が積み、東壁には板状の木材が杭によって固定された状態で出土した。遺物は古墳時代後期の土器が出土している。

奈良・平安時代 水田・土坑・溝を検出した。水田はAs-Bが被覆していた。しかし、明確な畦畔は確認できなかった。

中・近世 溝を1条検出した。溝は調査区斜面部を南北に走行している。陶磁器片が数点出土している。
(須田正久)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



古墳時代の2号開削状遺構全景(北から)



古墳時代の3号集石全景(西から)



平安時代の水田面全景(北から)

5 ^{あつだ なかむら}厚田中村遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町大字厚田

担当者 新井 仁・須田正久・田村 博

田村 真・本田寛之・太田 心

間庭 稔・飛田野正佳・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、JR吾妻線郷原駅の南約300mに位置する。標高は約396m前後で、吾妻川右岸の田中川と本田中沢川によって形成された扇状地上に立地する。吾妻川の対岸にはハート形土偶で有名な郷原遺跡が位置する。

調査の概要

本調査は、令和2年度上信自動車道吾妻西バイパス建設に伴う発掘調査で、対象面積は12,786㎡である。

古墳時代 竪穴建物3棟・土坑・水田を検出した。竪穴建物3棟のうち1棟は、長辺が約7.5mの大型建物である。この竪穴建物は焼失竪穴建物と考えられ、炭化材が多数出土した。カマドは東壁に備え、大型で残存状況が良く、甕が2個体置かれた状態で出土している。他の2棟は残存状態が良好ではなかったが、炭化材が出土していることから、これらの建物も焼失住居の可能性もある。Hr-FA下から長辺2m程度の小区画の水田を検出した。これらの水田は大畦に仕切られ、その中に幾つもの小区画の水田が形成されている。水田の東西部分の畦畔には、水を取り入れるための水口が確認できた。

平安時代 掘立柱建物1棟・As-B下水田を検出した。竪穴建物は柱穴堆積土からこの時期に帰属するものとした。As-B下面はほとんどの調査区で検出できたが、明確な畦畔を確認できたのは、西側の調査区だけであった。しかし、平坦面の存在と土壌分析の結果から水田と判断された。

中・近世 天明泥流以前の復旧坑・畑・溝23条・墓墳1基を検出した。1号溝は両側面に大型の礫を積み、強固に構築していた。(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



遺跡全景(西から)



古墳時代の小区画水田面全景(東から)



古墳時代の焼失竪穴建物炭化物土状況(西から)

6 おだざわ 小田沢遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町大字植栗

担当者 田村 博・太田 心

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川右岸の東吾妻町植栗地内、東吾妻町立太田小学校の南西約1.7km東に位置する。標高は約365～370mである。東約0.3kmには大泉寺沢が流れ、本遺跡と沢の間に下泉A遺跡・下泉B遺跡が位置する。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス建設事業に伴う発掘調査である。調査区は現道により東から1～3区とし、本年度は1区・3区の調査を実施した。調査面積は2,668.69㎡である。

古墳時代～平安時代 1区からは溝4条・ピット11基・掘立柱建物2棟、3区からは古墳時代後期以降の水田1か所・畑5か所・溝11基・土坑2基・ピット5基、古墳時代前期から中期の土坑11基・ピット103基を確認した。これらの遺構は3区北西部分に多く分布し、3区西側の未調査区に続くと考えられる。

中・近世 1区からは溝1条、3区からは掘立柱建物3棟・ピット列1列・水田1か所・井戸3基・土坑7基・ピット187基を確認した。これらの遺構は、古墳時代から平安時代の遺構と同様に、3区北西部分に多く分布している。

(太田 心)



国土地理院5万分の1地形図「中ノ条」使用



古墳時代のピット群(南半、東から)



古墳時代のピット群(北半、東から)



中・近世の掘立柱建物(東から)

7 ^{しもいづみ} 下泉A遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町大字植栗

担当者 平方篤行・田村 博
本田寛之・太田 心

遺跡の立地

本遺跡は東吾妻町植栗地内、東吾妻町立太田小学校より南西へ1.7km、吾妻川支流の大泉寺川の西に位置する。本遺跡に隣接して、東に下泉A遺跡、西に小田沢遺跡が位置する。標高は約370mである。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス建設事業に伴う発掘調査である。小田沢遺跡・下泉A遺跡・下泉B遺跡の3遺跡合わせて7,689.96㎡の調査を実施した。

縄文時代

集石遺構3基を検出した。集石周辺からは縄文時代早期の稲荷台式の土器片が約1,000点出土し、また、石器の剥片が多数出土している。これら集石遺構は、集落の拠点となった遺構と考えられる。

弥生時代

弥生時代の遺構は検出されなかったが、縄文時代の土器片が出土した黒褐色土の上層から、弥生時代後期の樽式土器片が多数出土しており、当該時期の集落が近くにある可能性がある。

中世

掘立柱建物4棟、竪穴状遺構1棟を検出した。これらの遺構は覆土中にAs-Kkが多量に混入し、中世に営まれたものである。また、各建物の方向が合うことから、ほぼ同時期と考えられる。このほか、詳細な時期は不明ながら、畠が検出されている。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



縄文土器の集石 断ち割り状況(東から)



中世 掘立柱建物(北から)



中世 畠全景(東から)

8 ^{しもいづみ}下泉B遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町大字植栗

担当者 平方篤行・田村 博
本田寛之・太田 心

遺跡の立地

本遺跡は東吾妻町植栗地内、東吾妻町立太田小学校より南西へ1.7km、吾妻川支流の大泉寺川の西に位置する。本遺跡に隣接して、西に下泉A遺跡・小田沢遺跡が位置する。標高は約370mである。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス建設事業に伴う発掘調査である。小田沢遺跡・下泉A遺跡・下泉B遺跡の3遺跡合わせて調査を実施した。

古墳時代

竪穴建物1棟を検出した。竪穴建物は遺跡のすぐ東側を流れる大泉寺川によって、ほぼ東半分が削平され、失っている。

竪穴建物の南壁にカマドが備えられ、カマドの袖材・燃焼部壁材として礫が用いられていた。柱穴及び貯蔵穴が検出された。柱穴は全部で8基確認され、建て替えが行われた可能性がある。

貯蔵穴からは土師器杯や甕、須恵器杯などの遺物が出土し、これら遺物により5世紀末頃の竪穴建物と考えられる。また、床面直上で焼土や炭化材が検出され、焼失した竪穴建物であると考えられる。

(平方篤行)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



古墳時代 竪穴建物全景(南から)



古墳時代 竪穴建物カマド近景(南から)



古墳時代 竪穴建物炭化材近景(西から)

9～11 ^{うえぐりなかはら} 植栗中原遺跡2・^{おぶち} 小沢
^{ざわ} 沢B遺跡・^{うえぐりやまね} 植栗山根A遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町大字植栗

担当者 田村 真・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、対岸の中之条盆地を吾妻川右岸の断崖から北に臨む上位段丘上に位置する。標高347mで、吾妻川との比高差は25mある。2万年ほど前の浅間山の山体崩壊により発生した前橋泥流を基盤層として堆積し、その上位に堆積した土層中に遺構面がある。

調査の概要

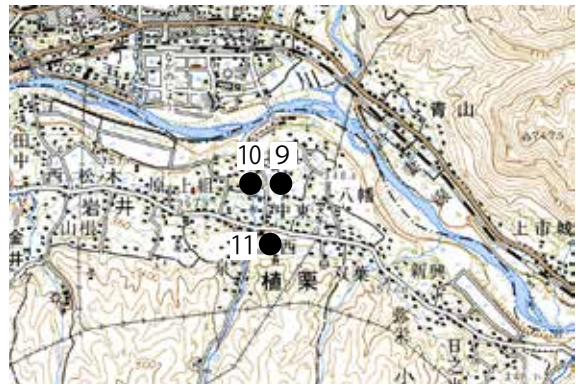
本調査は、建設予定の上信自動車道から北へ延びる(一)植栗伊勢線の道路改築事業に伴う発掘調査である。吾妻川寄りの北から植栗中原遺跡、その西側の小沢B遺跡、県道35号渋川東吾妻線南側の山根A遺跡の3遺跡で合わせて9,298.67㎡を調査した。

縄文時代 植栗中原遺跡2では、ローム漸移層上面から、台石を中心に早期の条痕文土器や剥片石器が、小沢B遺跡では縄文後期の土器が出土した。

古墳時代 植栗中原遺跡2の4区東側でHr-FA下に水田面を検出した。同4区に方形周溝墓と考えられる溝も確認された。他に古墳時代前期の竪穴建物跡・溝・土坑・ピットを検出した。小沢B遺跡では、樽式土器やS字状口縁の甕が伴出する竪穴建物跡のほか、掘立柱建物や土坑を確認した。

奈良・平安時代 植栗中原遺跡2と山根A遺跡でAs-B下に水田面を検出した。植栗中原遺跡2は水流の痕跡と考えられる溝状の落ち込みや水口を伴う畦畔を確認した。小沢B遺跡は覆土中にAs-B軽石が一次堆積する竪穴状遺構やカマドの焚き口に砂岩の切石が用いられている竪穴建物跡が確認した。

中・近世 植栗中原遺跡2では、竪穴状遺構や土坑(井戸と考えられるものを含む)・ピット・上端幅約1m、断面が薬研状の溝を確認した。小沢B遺跡でも当該期の溝が数条確認した。(田村 真)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



植栗中原遺跡2 2面(古墳時代)4区FA水田面畔全景(西から)



小沢B遺跡 奈良・平安時代9号竪穴建物カマド(南から)



植栗山根A遺跡 奈良・平安時代全景(北から)

各遺跡の調査概要

12 もりしたみやばら 森下宮原遺跡

所在地 利根郡昭和村大字森下

担当者 唐沢友之・原 雅信

遺跡の立地

本遺跡は片品川左岸に形成される河岸段丘上に立地し、片品川との比高差は約30m前後を測る。西から東に向かって緩やかに傾斜するが、広い平坦面を形成し、標高は約340mである。

調査の概要

本調査は、令和元年度社会資本総合整備(活力・一般・補正)(主)昭和インター線(森下工区)バイパス事業に伴う発掘調査である。調査面積1,840㎡である。調査対象地は宅地及び耕作地として利用され、地表面にはHr-FAが散布する状況であった。なお、遺跡南東の(主)昭和インター線建設に伴い平成7年から平成9年に昭和村教育委員会が森下中田遺跡を発掘調査し、縄文時代から古代の集落遺跡を確認している。

旧石器時代 旧石器試掘調査を実施したが、遺構及び石器の出土は認められなかった。

縄文・弥生時代 ピット類の他、縄文・弥生土器が出土したが、遺構は確認できなかった。

奈良・平安時代 Hr-FP面で、竪穴建物3棟(10世紀代)・土坑23基・ピット4基などを調査した。このうち、2号竪穴建物は、鍛冶炉を伴う製鉄関連施設であり、地域の中核的施設の一角を担う存在であったものと考えられる。土坑は直径1m前後の円形土坑が多く、古代から中世の貯蔵施設として機能していた可能性がある。

中・近世 中世以降とみられる土坑は、1基である。土坑内に多量の礫が投入されており、その礫中には石臼・石鉢などの破片が出土している。

(唐沢友之)



国土地理院 5万分の1 地形図「沼田」使用



発掘調査の状況(南から)



鍛冶炉を伴う竪穴建物(南から)



2区21号土坑(北から)

13 まえばしし 前橋市0107遺跡

所在地 前橋市池端町

担当者 唐沢友之・原 雅信

遺跡の立地

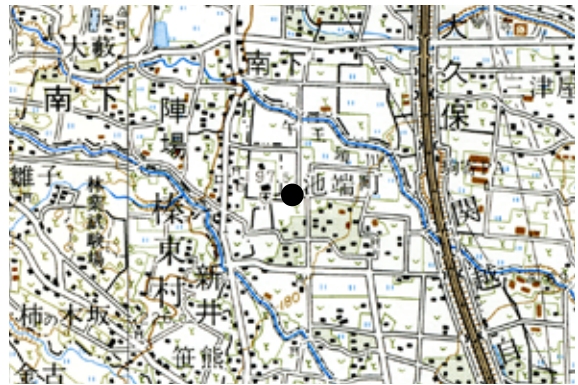
本遺跡は前橋台地上に位置し、標高は185m前後で西から東側に向かって緩やかに傾斜する。北東側を流れる午王頭川と南西側を流れる八幡川に挟まれた微高地上に立地する。

調査の概要

本調査は、令和2年度(一)南新井前橋線(2期工区)道路改築事業(地方道・連携)に伴う発掘調査で、面積は809.35㎡である。平成30年12月実施した2区に接する位置にある。本調査対象地は3区としてたが、東西に区画が分割することから3区東、3区西と区分けた。また遺構番号は連番とした。各調査区とも2面の遺構確認面が認められた。遺構面は部分的に削平攪乱を受け、上層の遺構が下層の遺構面で認められる場合もあり、調査面が遺構の時期を限定しない例も含んでいる。

古代以前 3区西の第2面の褐色シルト面で古代以前とみられる集石が4基確認されたが、出土遺物を伴わない遺構の時期は特定できなかった。層位から古墳時代以前の可能性が高い。

古墳時代～中世 3区東の第1面は6世紀のHr-FA面、第2面はその下層の褐色シルト面である。各確認面で遺構は土坑やピット類が大半を占め、竪穴建物は確認されていない。土坑は形状から貯蔵用若しくは墓坑の可能性はある。ピットは規模や配置から掘立柱建物の支柱を構成する可能性があるが、建物を特定することはできなかった。3区西の第1面はAs-Cを混入する黒褐色土層面で、中世以降の溝や竪穴状遺構を検出した。溝は底部に礫が集積された暗渠や地形に沿って西から東方向に走行する水路が認められ、この水路は3区東にも確認されている。周囲に形成される集落と耕作地を結ぶ役割を果たす集落縁辺にあたる地域とみられる。(唐沢友之)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」「榛名山」使用



3区西 遺構確認作業



3区西 第1面遺構確認状況



3区東 第2面全景(南西から)

14 かみしばにしりゅうのみや 上芝西龍之宮遺跡

所在地 高崎市箕郷町

担当者 唐沢友之・原 雅信

遺跡の立地

本遺跡は主に耕作地として利用されており、過去の大規模土地改良工事により、削平及び盛土の施工が行われた。現在、各段は土地改良事業により水平になっているが、施工前は北東側に向かって高く、南西側が低い傾斜地形を利用し、水田・畠が段状に分布していた。また、北西から南西に向かって流れる水路があり、それを挟み北東側が約2m高い段差が存在する。

調査の概要

本調査は、令和元年度社会資本総合整備(活力・重点)(主)前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路 高崎西工区)に伴う埋蔵文化財の発掘調査である。調査面積は1,406.52㎡である。遺跡東部に排土を集積し、遺跡南西部分を重点的に調査を行った。

旧石器時代 ローム層面の確認調査を深掘りによって実施したが、地山の黄褐色砂礫層に大型の礫を含み掘削限界深度まで続き、ローム層を確認できず旧石器遺物包蔵地の確認及び遺物は認められなかった。

古墳時代 Hr-FA泥流は確認されたが、遺構は確認できなかった。

中世 南西部においてAs-B混土及びAs-B堆積が確認されており、南西部を中心として調査を行った。As-B下面において溝7条・ピット5基・畦1条・水田面1面の調査を行った。

近世 耕作及び大規模土地改良工事により、遺構確認面への大規模な攪乱が認められ遺構を確認することができなかった。

(唐沢友之)



国土地理院 5万分の1 地形図「榛名山」使用



1区全景(西から)



1区溝(東から)



1区調査風景(東から)

15 ^{ほんごうまんぎょうはら}本郷満行原遺跡

所在地 高崎市本郷町

担当者 唐沢友之・原 雅信

遺跡の立地

本調査は榛名山南東麓に位置し、南北に刻まれた谷地形が発達する烏川左岸の台地上に立地する。標高は170m前後である。

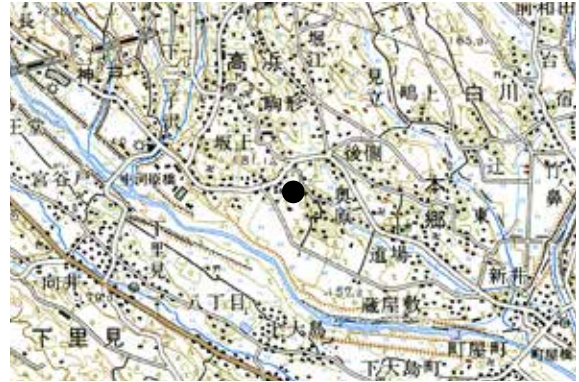
調査の概要

本発掘調査は、令和元年度社会資本総合整備(活力・重点)(主)前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路高崎西工区)に伴い実施され、調査面積は1,020.66㎡である。A区～D区に区分され、平成29年度から調査が実施され、古代の集落が確認されている。今年度はB区が対象である。今回の調査により調査が完了することになる。なお、B区の調査では中世以降および古代の遺構群が確認されている。

古代 竪穴建物・竪穴状遺構及び土坑などが確認された。竪穴建物は平安時代とみられ、中世以降の土坑・溝により壊されていたが、カマドや貯蔵穴などが残存していた。特筆すべき遺構として、八稜鏡5面・銅鈴4点・鉄鈴1点・棒状鉄製品の一括埋納土坑(587号土坑)を確認した。出土遺物から10世紀代と推定される。竪穴建物や中世以降の遺構などと重複し、土坑の残存状況は良好ではないが、一括埋納された鏡類は埋納時の状態をほぼ保っていた。鏡5面を重ねた状態で、性格不明の棒状鉄製品と鈴5点とともに埋納されていた。鏡には鈕に紐の残存が認められ、縁辺部が折り曲げられたものも含まれる。

中世以降 土坑・溝を検出した。土坑の平面形は長方形を呈し、耕作地に付随する貯蔵用として使用されたものとみられる。溝も、耕作に伴う用排水に使用したものとみられ、B区が耕作域であったことが確認された。

(唐沢友之)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



発掘調査の状況(南から)



587号土坑遺物出土状況



銅鏡、銅鈴の一括埋納の状況(南から)

16 本郷広神遺跡

ほんごうひろかみ

所在地 高崎市本郷町

担当者 唐沢友之・原 雅信

遺跡の立地

本遺跡は高崎市本郷町地内、榛名山南東麓の烏川左岸に位置する。本遺跡周辺では、榛名山の噴火に伴って形成された火砕流台地を大小の河川が浸食し、深い谷戸が入り組んだ複雑な地形が見られる。この谷戸に位置し、標高は160m前後である。

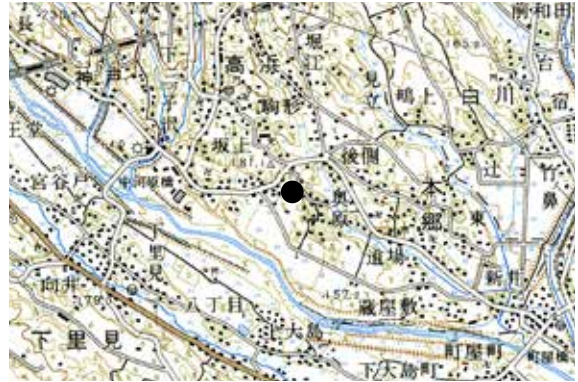
調査の概要

本調査は、令和元年度社会資本総合整備(活力・重点) (主)前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路 高崎西工区)に伴う発掘調査で、面積は778.94㎡である。平成29年度に行われた隣接地の発掘調査では、As-Bで埋没する水田が確認されている。今年度の調査でもこのAs-B層下面を遺構確認面とし、湧水をポンプで継続的に排水をしながらの調査を行った。

平安時代 As-Bに被覆された水田を調査した。平成29年度調査で確認された水田と連続するもので、この谷地全域が平安時代の耕作地として利用されていたことが明らかになった。また、水田耕作土中から土器片・瓦片・瓦塔片などが出土したが、これらは台地の上の集落から廃棄されたものと思われる。

近世 As-B層上から掘り込まれた溝から木製横槌が1点出土した。一部欠損していたが、中・近世の農工具、若しくは加工具として貴重な資料が得られたものといえる。

(唐沢友之)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



発掘調査の状況(西から)



As-B下水田面検出状態(南から)



木製横槌出土状況(北から)

17 かみおおしま おいせ 上大島御伊勢遺跡

所在地 高崎市上大島町

担当者 本田寛之・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は烏川の下位河岸段丘に位置し、北側には榛名山麓が広がっている。標高は133~135m程である。

調査の概要

本遺跡は、社会資本総合整備(活力・重点)(主)前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路 高崎西工区)事業に伴う発掘調査で、令和2年4月の1か月の調査期間であった。高崎泥流上面の確認面まで表土掘削を行い、遺構の確認、検出を行った。

中・近世 復旧坑(As-A) 7基・溝7条・土坑13基が検出された。復旧坑はいずれも近世のものと考えられ、7基のうち2基にはAs-Aが、残りの5基には洪水砂層の土で充填していた。溝は底面から自然礫が、多量に出土しており、自然流路であった可能性がある。土坑は埋没土や新旧関係などから近世のものと考えられ、平面形は細長い長方形のものが多かった。出土遺物は少なく、土坑の性格や年代の詳細などを特定することはできなかった。検出された土坑の一つからは、炭化材や焼土と共に人骨や陶磁器、古銭などの遺物が確認できたことから、この土坑は墓壙、または火葬土坑の可能性はある。

(本田寛之)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



遺跡全景(南から)



As-Aで埋められていた復旧坑(南から)



炭化材と共に人骨や古銭が出土した土坑(東から)

18 下里見天神前遺跡

しもさと み てんじんまえ

所在地 高崎市下里見町

担当者 本田寛之・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は、烏川と里見川の間台地部分に位置し、北側には榛名山の山麓部が広がっている。標高は135～140m程である。

調査の概要

本遺跡は令和2年度西毛広域幹線道路整備事業に伴う発掘調査で、対象面積4,980.1㎡である。As-B層下面、古代面の調査を3か月間で行った。

縄文時代 中期後半から後期前半にかけての竪穴建物2棟、土坑3基を検出した。竪穴建物の残存状況は不良であるが、石囲い炉などを検出した。

古墳時代前期 竪穴建物3棟を検出した。そのうちの2棟は、長辺が約6.8mの大型建物である。

古墳時代後期 竪穴建物16棟・土坑26基・溝11条・古墳2基を検出した。竪穴建物は1辺3～6m程度で、カマドを北西壁や北東壁に備える。自然礫を側壁・天井部に使ったカマドもある。古墳は後期と考えられるものが、北部で2基検出されている。そのうち1基は墳丘長約5mの小型の古墳で、川原石を使用した石室の最下部が残存していた。他の1基は全体の約5分の1が調査できただけであり、墳丘長約12mの円墳と考えられる。周堀内から馬形埴輪・人物埴輪・朝顔形埴輪・円筒埴輪を並べたものが倒れた状態で検出された。周堀に埴輪を置いた稀有な例と考えられる。墳丘上に立てられた埴輪列の一部や石室の裏込め最下部と考えられる石列も検出されている。

平安時代 竪穴建物が4軒検出されている。一辺3～4m程度で、カマドは東・南東壁面に備える。柱穴を備えるものはなかった。他に、低地部分でAs-B下の水田を確認した。

中・近世 溝9条、ピット2基などが検出されている。

(新井 仁)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



古墳～平安時代集落全景(上空から 上が北)



As-B下水田全景(東上空から)



古墳周堀から出土した埴輪群(南から)

19 ^{みやくぼ}宮久保遺跡

所在地 安中市上間仁田

担当者 川口 亮・太田 心・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川の支流である天神川右岸の段丘面上に立地している。現地形は北向きの緩斜面となっており、標高は約238～248mである。周辺一帯には縄文時代から中世にかけての遺跡が広がり、天王山城や経塚古墳が近傍に所在するほか、日影遺跡や大上遺跡などが安中市教育委員会によって調査されている。

調査の概要

本調査は令和元年度(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)に伴う発掘調査であり、調査対象面積は8,747㎡である。

縄文時代 遺構は確認されなかったが、調査区全域から縄文時代前期から後期にかけての土器・石器が出土している。

奈良・平安時代 D区でAs-B上から掘り込んだ溝が3条検出された。

また、B～C区では大規模な土層の逆転現象が観察されており、丘陵上部から山崩れによって流出されたローム層とみられる。As-Bより下位、As-Cより上位に位置するため、弘仁9(818)年の「弘仁地震」に対応する可能性がある。

中・近世 As-A復旧坑・土坑46基・溝3条が確認された。いずれも遺構埋没にAs-Aを含んでいる。

形状などの特徴から農作物貯蔵用の「イモ穴」が多数を占めると考えられる。

(川口 亮)



国土地理院 5万分の1 地形図「富岡」使用



遺跡全景(北から)



近世の復旧坑群(東から)



山崩れによる逆転層(南から)

20 ^{ふくしましもまち やしきた} 福島下町・屋敷下遺跡

所在地 甘楽郡甘楽町大字福島

担当者 新井 仁・本田寛之

遺跡の立地

本遺跡は、鏑川右岸の河岸段丘下段に位置しており、標高は140m前後である。国道254号線と上州福島駅から南北に延びる道路の交差点付近にあたる。

調査の概要

本調査は、令和2年度社会資本総合整備(防災・安全)(交安・重点)(国)254号(福島西工区)事業に伴う発掘調査である。本年度は、国道254号と南北に交差する道路側の調査を行った。

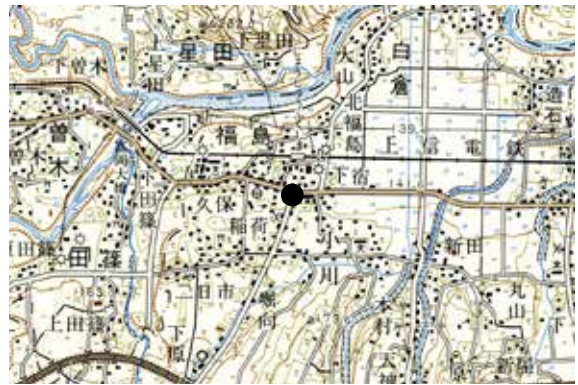
弥生時代 竪穴建物5棟・土坑1基・溝2条が検出された。

竪穴建物は、調査区が狭小のため遺構全体を検出できたものは少なかったが、形状は隅丸方形や長方形をしており、長軸は南北方向を指していた。四隅に柱穴があり、中央北寄りには炉を確認することができた。埋土の中から数多くの土器が出土した遺物もあった。

溝は、大型のものとそれ以下の小型のものを検出した。大型のものは幅2m程で、水路として利用されたものとも考えられるが、周辺に竪穴建物の検出がないため、集落の区画溝であったとも考えられる。

中世以降 土坑64基・溝2条・ピット34基などが検出された。土坑の平面形は、円形、長方形などさまざまであったが、出土遺物が少なく、どのような性格のものかを特定するまでには至らなかった。一部の土坑には、As-Aを廃棄したと考えられる大型のものがあった。溝2条のうち南北方向の1条は、3区・4区の調査区を縦断していた。溝の西側に石積みがあり、道路の側溝又は屋敷の区画溝の可能性もある。溝の中から、近世の陶磁器や軟質陶器が出土している。

(本田寛之)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



弥生時代の竪穴建物(南から)



弥生時代の竪穴建物から出土した遺物(東から)



調査区に南北に延びる中・近世の溝(北から)

21 なんじゃいきたはらだ 南蛇井北原田遺跡

所在地 富岡市南蛇井

担当者 川口 亮・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、上信電鉄南蛇井駅から約500m北東側、上信越自動車道に東接して位置している。北側には標高328mの神成山がそびえ立ち、周辺には田園地帯が広がる。遺跡が立地するのは鑛川左岸部の段丘平坦面上で、調査地の南端部には中沢川の流路がすすめている。

調査の概要

本調査は、令和元年度(一)蚊沼川河川改修事業に伴う発掘調査で、対象面積は2,005.29㎡である。小礫を多量に含んだ極めて強固な土壌であり、中沢川の営力によって形成された地質とみられる。

縄文時代 土坑3基が確認された。このうち26号土坑は直径2m近くと大型であり、内部から炭化物や縄文土器が検出された。縄文時代中期後半から後期前半頃とみられる。

古墳時代～平安時代 竪穴建物は64棟が確認された。砂岩の割石をカマドの横架材・袖材に利用した袖部の長いカマドを、北側か東側に作り付ける点が特徴である。6世紀後半から7世紀にかけてのものが多い。炭化材を多量に含む「焼失建物」が複数検出されたほか、「漆仕上土師器」が出土した。

特殊な遺構として、炉1基・焼土遺構6基が確認されている。具体的な性格は不明であるが、いずれも竪穴建物群を壊して構築されており、時期的に後出するようである。

中・近世 土坑墓1基、溝1条が確認された。土坑墓からは、北側頭位で西面し、軽く膝を折り曲げた状態の人骨1体が検出されたが、六道銭などの副葬品は確認されていない。このほか、表土中から龍泉窯系青磁片が出土しており、柱穴群がこの時期に帰属する可能性もある。

(川口 亮)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



遺跡全景(東から)



古墳時代終末期の焼失竪穴建物(南から)



古墳時代竪穴建物のカマド(南から)

22 ^{かみにゆうさぎがいと}上丹生鷺谷戸遺跡

所在地 富岡市上丹生

担当者 川口 亮

遺跡の立地

本遺跡は、富岡市立岡部温故館の約200m南側、丹生川に近い標高210mほどの東向き緩斜面に立地している。周辺一帯には縄文時代から中世にかけての遺跡が広がり、上丹生千足遺跡・上丹生屋敷山遺跡・上丹生早道場遺跡・丹生東城が分布している。

調査の概要

本調査は、令和元年度(主)下仁田安中倉測線(上丹生工区)に伴う発掘調査であり、対象面積は309.62㎡である。事業地が狭小であったことから、事務所用地及び排土置き場については周辺地を借用して確保した。

古墳時代 調査区北側から中央部にかけて、柱穴14基・土坑1基・竪穴建物1棟が検出された。いずれも6世紀から7世紀の遺構と考えられる。調査区南側は緩やかに傾斜しておりAs-Bの堆積が確認されたが、遺構はなく自然地形の低地部とみられる。

柱穴は組み合わせず、明確な掘立柱建物としては認識できなかった。土坑は埋土上部に焼土や土師器片を含むものであるが、性格は不明である。竪穴建物は1辺が4m程度と比較的小規模であり、北側にカマドを備える構造である。攪乱が広範囲に及んでいるため遺物は少なかったが、完形の土師器杯1点が出土している。

なお、今回調査箇所は集落域の東端部分に相当すると考えられる。遺跡の中心部分はさらに西側に存在するとみられるが、地形などの状況から比較的小規模な集落である可能性が高い。

(川口 亮)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



遺跡全景(南から)



古墳時代の竪穴建物(南から)



土師器杯出土状況(南から)

23 ^{わたぬき}綿貫41遺跡ほか

所在地 高崎市綿貫町・岩鼻町

担当者 平方篤行・都木直人

遺跡の立地

本遺跡は、高崎市南東部にあり、高崎玉村SICの南西約2km、綿貫観音山古墳の南1.2kmに位置している。調査区は前橋長瀬線を挟んで店舗や住宅地・田畑に隣接している。標高は71m程である。

調査の概要

本調査は、令和2年度(都)前橋長瀬線社会資本総合整備(緊急対策/活力基盤)関連に伴う発掘調査である。調査対象面積は3,517㎡である。

縄文時代 古代の集落の下から、縄文時代の竪穴建物1軒を検出した。土器と脚付石皿が出土した。同形の石皿は、同区の土坑からも1点出土している。

古墳～平安時代 古墳時代後期から古代にかけての竪穴建物57軒、古墳の周堀と推察される溝2条などを確認した。周堀は一部の確認であり、形状は判然としない。円筒埴輪や形象埴輪が出土しており、6世紀から7世紀の所産と推察される。主体部は調査範囲外であり、古墳の周堀が調査の主体であった。竪穴建物は3・4区で確認されており、多くのカマドは東向きであった。1軒だけ南カマドを備える竪穴建物が検出された。この竪穴建物からは鉄滓と羽口が出土している。これらの竪穴建物は、形状や遺物から時期は古墳時代(5・6世紀)と平安時代(8～10世紀)に比定される。遺物は、須恵器や土師器の甕類・杯類などが出土している。石田川式土器を伴う竪穴建物が確認されており4世紀の所産と考えられる。

中・近世 竪穴状遺構は、床面の隅に柱穴やや中央に土坑を有している。屋敷の区画と推察される溝が確認された。ほぼ南北と東西に走行しており直交するものもある。

(都木直人)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



3区北 調査区全景(北から)



3区南 38・39号竪穴建物全景(東から)



4-2区 調査区全景(北から)

24 ^{わたぬき}綿貫41遺跡・41H01遺跡

所在地 高崎市綿貫町

担当者 平方篤行・都木直人

遺跡の立地

本遺跡は、高崎市南東部の沖積低地にあり、高崎玉村SICの南西約1.5km、綿貫観音山古墳の西300mに位置している。調査区は前橋長瀬線を挟んで店舗や住宅地、田畑に隣接している。標高は73m程である。

調査の概要

本調査は、令和元年度社会資本総合整備(活力・重点)(主)前橋長瀬線現道拡幅工事に伴う発掘調査である。調査対象面積は4,154㎡である。

古墳時代～平安時代 古墳時代後期から古代にかけて、古墳2基・竪穴建物2棟・竪穴状遺構2棟などを確認した。古墳は2基とも形状と遺物から7世紀に比定される。主体部は調査範囲外であり古墳の周堀が主体的な調査であった。周堀は円形ではなく、不整形な様相を呈している。遺物の出土は少ないが、一方の周溝からは8世紀の甕が出土した。竪穴建物は、2棟ともカマドは東向きであった。形状や遺物から平安時代と比定される。遺物は、須恵器や土師器の甕類・杯類などが確認されたものの出土量は少ない。竪穴状遺構の一つは掘り込みが深く、床下には2基の土坑をもつ。そのうちの一つは床に粘土で石を敷き詰めた丁寧な造りであった。また、焼土が多量に出土した土坑を確認した。

中・近世 屋敷の区画と推察される溝が確認された。ほぼ南北に走行している。竪穴建物の面より層位が高く、古代より新しいと推察される。溝は、南北端とも東へ曲がっており溝の東側に主体となる建物などが存在していた可能性がある。

このほかに高崎泥流中から石器剥片3点が出土した。

(都木直人)



国土地理院 5万分の1 地形図「高崎」使用



7区 1号墳全景(南西から)



7区 1号墳出土遺物(南から)



3区北 1～4号溝(北から)

25 ^{ひごしやくし}樋越薬師遺跡

所在地 佐波郡玉村町大字樋越

担当者 新井 仁・都木直人・平方篤行
唐沢友之・田村 博・川口 亮
太田 心・原 雅信・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は利根川左岸、前橋台地の末端部に立地している。東側約300mには西上之宮遺跡がある。

調査の概要

本調査は、(一)利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、今年度の調査範囲を1区とした。調査対象面積は5,721.89㎡である。

古代・中世 As-B混土の直下を確認面として調査を行い、耕作痕や溝を検出した。また、12号溝はAs-Bによって埋没しており、古代の遺構と考えられる。北側部分は低地となっていたとみられるが、部分的に焼土状の土層堆積が確認でき、これを焼土遺構とした。

近世 天明泥流・As-A直下から広大な畠地が検出し、その一角が墓地として利用されていたことが判明した。畠は溝・道によって区画されており、畝・サクの状態も非常に良好であった。一部の畠からは、裸足で作業を行った際の「足跡」が検出された。

畠の下層からは、これらに先行する複数面の畠を検出した。耕作土及び埋没土はいずれも砂層であり、利根川水系の氾濫によって畠が埋没する度に、畝を復旧して耕作を継続していた状況を把握することが出来た。

1号墓地では、天明泥流によって墓石が押し流され、周囲を巡る溝へと落ち込んでいる状況を観察した。また、泥流によって埋葬人骨が押し出され、泥流中に流出したような状態で出土した。墓石基礎には入念な石組みが構築され、下部の土坑からは埋葬人骨のほか、煙管・陶器・寛永通寶・漆器などが出土した。

(川口 亮)



国土地理院 5万分の1 地形図「高崎」使用



遺跡全景(南から)



複数面が重なる近世畠(東から)



近世の墓地(南から)

26 にしかみのみや 西上之宮遺跡

所在地 伊勢崎市西上之宮町

担当者 新井 仁・都木直人・平方篤行
唐沢友之・田村 博・川口 亮
太田 心・原 雅信・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は利根川左岸、支流である藤川との合流点の西側に立地している。西側約300mには樋越薬師遺跡がある。

調査の概要

本調査は、(一)利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、今年度の調査範囲を1区とした。調査対象面積は5,000㎡である。

古墳時代 古墳時代前期から中期の竪穴建物5棟、古墳3基を検出した。1号古墳は5世紀後半の大型円墳(前方後円墳の可能性もある)とみられ、舟形石棺の蓋の一部や埴輪などが出土した。中世に墳丘の大部分が削平されたと考えられ、石棺蓋は土坑に落とし込まれた状態で出土した。副葬品は、この際に失われたとみられるが、鉄鏃と刀子形石模造品が僅かに残存していた。中世墓域の直下からは、3号墳を検出した。

中世 中世墓域のほか、溝・畠・井戸・土坑群などを検出した。墓域は盛土・石組みによる基壇を伴う大規模な構造で、五輪塔・宝篋印塔・板碑が多数確認され、人骨・陶磁器・宋銭・永楽銭などが出土した。墓域中核部には火葬骨を納めた骨蔵器が埋納されていた。石造物の記年銘は「徳治三年(1308)」から「文明八年(1476)」の年代幅が確認されており、基壇の拡張を行いながら、約200年に渡って墓域が営まれたと考えられる。墓域外からは、火葬土坑2基を検出した。

近世 As-A直下から配石遺構2基が検出され、墓の可能性はある。この時期には、周辺は山林・荒蕪地になっていたとみられる。

(川口 亮)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



古墳時代中期の舟形石棺(西から)



中世の墓域(東から)



墓域中核部の五輪塔群(東から)

27 いしばしじぞうくぼ 石橋地蔵久保遺跡

所在地 太田市石橋町・寺井町

担当者 田村 博・太田 心

遺跡の立地

本遺跡は、太田市石橋町・寺井町地内、東武桐生線治良門橋駅の南西約300～450m、大間々扇状地敷塚面上に位置する。標高は約100mである。周辺の同時代の主な遺跡として、本遺跡の西南西約400mには国史跡上野国新田郡家跡、南約650mには県史跡鶴山古墳、北東約1,000mには県史跡二ツ山古墳1号墳・2号墳、北北東約450mには寺井廃寺が位置する。

調査の概要

本調査は、(主)足利伊勢崎線天良工区歩道整備事業に伴う発掘調査で、459.47㎡を調査した。当該箇所は治良門橋駅前の市街地のため、調査対象地隣接地への進入路を確保し、上下水道などの地下埋設物や電線などの架線に注意しつつ調査にあたった。

なお、本遺跡の東側は県道太田大間々線石橋交差点整備に関連して平成14・17・18(2002・2005・2006)年度に発掘調査が行われ、平成19(2007)年度に発掘調査報告書が刊行されており、古墳時代から奈良時代の遺構・遺物が報告されている。

奈良・平安時代 竪穴建物7棟・溝4条・土坑3基・ピット3基を検出した。各遺構に伴う遺物は少量である。調査区が狭小なため詳細は不明であるが、検出状況から考えるに、竪穴建物・溝の主軸方位は東西または南北と推定される。

中世 土坑1基を検出した。

(太田 心)



国土地理院 5万分の1 地形図「深谷」「桐生及足利」使用



奈良・平安時代の竪穴建物(東から)



奈良・平安時代の溝(東から)



奈良・平安時代の土坑(東から)

28 ^{あざみ}阿佐美遺跡

所在地 みどり市笠懸町阿佐美

担当者 田村 博・太田 心

遺跡の立地

本遺跡は、阿佐美沼の南、茶白山の北西の平地に位置し、標高は約120mである。一部が県史跡「阿佐美縄文式文化住居跡」（1号住居跡と2号住居跡の2棟）として東武桐生線旧阿佐美駅構内に保存されている。本年度の調査区は、県史跡の北側から南西側にあたる。

調査の概要

本調査は、令和元年度(主)桐生伊勢崎線阿佐美大原工区道路改良事業に伴う発掘調査で、1,568㎡を調査した。平成30年度に引き続いての調査であり、本年度は、平成30年度調査区の北東隣接区域とその北側区域(県史跡の北側)、及び(主)桐生伊勢崎線を挟んだ南東側区域(県史跡の南西側)の調査を行った。

縄文時代 中期後半から後期前半にかけての竪穴建物2棟・土坑62基・ピット119基が検出された。竪穴建物は2棟とも県史跡南西側にあり、うち1棟は、県史跡の2号住居跡と同じく、いわゆる敷石竪穴建物であった。土坑の大半は直径1～2m、深さ0.4～1.5m、底部付近が膨らむ袋状土坑で、約30基が集中して群をなしていた。また、遺跡全体に遺物包含層が厚く堆積しており、多くの遺物が出土したが、土器が多く石器は僅かであった。

古墳時代～平安時代 土師器片・須恵器片が出土したが、遺構は確認されなかった。

中・近世 溝4条・土坑9基・ピット24基が検出された。溝は、ほぼ南北方向及び東西方向に走る幅5m以上、深さ0.5～1mの大型のが各1条検出された。調査範囲外で直交する可能性がある。溝の底面は平坦で、断面から流水の痕跡は確認されず、区画溝と考えられる。

(田村 博)



国土地理院5万分の1地形図「桐生及足利」使用



縄文時代後期の竪穴建物(北西から)



縄文時代中期～後期の土坑群(南西から)



縄文時代後期の土坑(南から)

29 きりゆうしんまちすいろあと 桐生新町水路跡

所在地 桐生市本町

担当者 本田寛之 原 雅信

遺跡の立地

本遺跡は桐生市本町に所在し、一帯は重要伝統的建造物保存地域に指定されている。標高は114m前後である。

調査の概要

本遺跡は、令和2年度(主)桐生田沼線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査として、令和3年1月から3月までの3か月間実施した。調査面積は、27.12㎡である。

水路跡は、昭和40年代までは通水されていたとみられており、その後、水路の石積みを残して埋め戻され、上部に歩道が造られている。

これまで水路壁の調査であったのに対し、本年度は、住宅などと直接境を接する西側の壁の調査を行った。36区から49区まで14か所すべての調査区で石積みの石を確認することができた。しかし、石垣の上からコンクリートを打設したり、排水管やガスパipesの設置のために、石垣を崩していたりしているところなど様々な改修が行われているものがあった。

38区では河原石の石積み4段を検出した。円礫を主とした小口積みで残存状況も良好であった。

44区・45区・46区の調査では、加工した御影石を三段布積みして作られた石垣を検出した。御影石による石橋などは過去の調査で検出されていたが、石積みの状態で検出されたのは初めてである。45区で検出された石垣の上には、大正時代に建てられた蔵があり、蔵の基礎にも御影石の石材が使用されていた。建物の石材、石垣の石材いずれも縦横の目地をあみだ目の模様にして積んでいることなどから当時の景観を意識して改修されていたものと思われる。

(本田寛之)



国土地理院 5万分の1 地形図「桐生及足利」使用



河原石が積まれた石積みの様子(東から)



排水管の敷設に伴い崩された石積み(東から)



加工石材(御影石)を使用した石積み(東から)

30 ^{しもがいど}下谷戸 B 遺跡

所在地 みどり市大間々町大字塩原

担当者 間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、みどり市大間々町塩原地内に所在する。渡良瀬川左岸、下位の河岸段丘上に立地し、東には渡良瀬川の支流である塩沢川が流れている。標高は204m程である。

調査の概要

本調査は、令和2年度(一)小平塩原線滝ノ上工区道路改良事業に伴う発掘調査である。調査面積は、100㎡である。今年度の調査では、前年度末に検出された1区10トレ周辺を南北5m×東西20mの範囲で行った。

縄文時代 調査区の中央部分やや南寄りに土器・石器集中範囲1か所を確認した。集中範囲が調査区南側に広がっていたため、一部南側に拡張して調査を行った。

調査区の概ね東側から石器類が出土した。中央部分5×9mの範囲から、石器製作に伴う多くの剥片やチップ及び土器片800点以上が出土した。遺物取り上げ時の観察であるが、17×5cmの片刃打製石斧1点、4×1.8cmの石鏃1点、3cm程の石鏃2点、欠損しているが3.8×2cmの有舌尖頭器2点、作成時に欠損したと思われる尖頭器が10点以上確認でき、大きいものは8×3.4cmであった。これらの石器群には、やや厚手の隆起線文と思われる土器や、薄くて文様が不鮮明の土器を伴っており、草創期のものと捉えられる。

遺物を伴わないので明確ではないが、土坑を数基と前期から後期にかけての土器片・石器類が多数出土している。

(間庭 稔)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「桐生及足利」使用



調査区(草創期面)全景(東から)



隆起線文土器出土状況(南から)



片刃打製石斧出土状況(北から)

31 ^{ふきやいくぼ}吹屋恵久保遺跡

所在地 渋川市吹屋

担当者 間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は渋川市吹屋地内に所在する。吾妻川左岸の河岸段丘上に立地し、西には吾妻川の支流である鯉沢川が流れている。標高は210m程である。渋川市子持行政センター(旧子持村役場)の100m程北側で、中之条方面に向かう国道353号線の南側にあたる。

調査の概要

本調査は、令和2年度渋川警察署吹屋交番(仮称)新築事業に伴う発掘調査である。調査面積は165㎡である。

古墳時代 今回の調査では、Hr-FPに厚く覆われ、墳丘部分が確認できる方形周溝墓を検出することが出来た。他地域での方形周溝墓の検出では墳丘はほとんど削平されて周溝のみが確認されるのがほとんどである。しかし、当該方形周溝墓の場合は、Hr-FPに厚く覆われていたため、墳丘が残っていたものと思われる。周辺の調査された方形周溝墓を参考にする、長軸が東西で短軸が南北の長方形の方形周溝墓の可能性が高い。しかし、残念ながら調査範囲が狭く崩れやすいHr-FP下の調査であり、法面を確保するため下面に進むにつれ調査範囲がより狭くなり、後世の攪乱などでその規模や盛土の正確な高さなどは確認できなかった。

確認できたのは方形周溝墓の北東角部分(陸橋部)、北斜面と周溝の内側縁及び底部分の一部・東斜面と周溝の一部分のみであった。北斜面・東斜面ともに周溝の外側縁は確認できなかった。また、被葬者は葬った主体部も調査範囲の僅か南側と思われ、確認出来なかった。

(間庭 稔)



国土地理院 5万分の1 地形図「沼田」使用



遺跡より二ツ岳を望む(北東より)



Hr-FP降下面検出状況(東から)



北斜面墳丘構築用作業道精査状況(北東から)

32 50包蔵地^{ほうぞうち}

所在地 藤岡市本郷

担当者 木村 収・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、神流川右岸、庚申山丘陵の東側縁辺部に位置し、遺跡地の西側には笹川が北流して神流川に合流している。庚申山丘陵との比高差はおおよそ50m、標高91mを測る。遺跡地北側に国道254号線、東側にはJR八高線が走っている。また、南側には本郷埴輪窯跡が隣接している。

調査の概要

本調査は、令和2年度藤岡特別支援学校体育館整備事業に伴う発掘調査であり、およそ1,340㎡を調査した。調査期間は令和3年1月の1か月間である。調査区西側および南側は、笹川の旧河道及びそれに伴う低地帯が形成され、造成工事などの影響から遺構・遺物は発見できなかった。

古墳時代 調査区北側で粘質黒色土の分布が認められ、直下の砂礫層上面において遺物が包含されていた。古墳時代前期の複合口縁部を持つ壺や台付甕と思われる土師器が出土した。これらの遺物は、砂礫層の堆積状況から、河川の氾濫によってもたらされたと考えられ、遺構の発見には至らなかった。時代は断定できないが、調査区南側でピット3基を確認した。

平安時代 北側からAs-B軽石が1次堆積する土坑1基が確認された。不整形な浅い掘り込みであるが、As-B軽石の灰層を伴うものであった。

中世 竪穴状遺構1棟・土坑1基・溝状遺構2条と水田面が確認された。水田面については、方形に区画された畦畔を伴うものと地形に沿って畦畔を構築した二者の様相がある。前者はAs-B軽石混土層を水田土壌としており、比較的新しい様相を示している。竪穴状遺構と土坑は、水田土壌の下位より発見された。

(飛田野正佳)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



調査区全景(北から)



遺物出土状況



1号竪穴状遺構及び2号土坑全景(西から)

V 付 篇：群馬県内の埋蔵文化財関連事業

1 令和2年度群馬県内発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
1	群馬県地域創生部 文化財保護課 県内遺跡	群馬県内	県教委 飯森康広 黒澤照弘 阿久津 聡 宮下 寛 石田 真 多賀谷 蓮	平成2年度 群馬県内公共開 発に伴う県内遺 跡発掘調査	令2.4.1 ～令3.3.31	試掘・確認調査
1	前橋市 上野国府等範囲内 谷確認調査	前橋市元総社 町	市教委 阿久澤智和 齋藤 颯	範囲内容確認調 査・588	令2.6.1 ～令2.12.4	古代礎石建物跡、古代溝跡、古代道路 跡、古墳・平安住居跡
2	上細井中西部遺跡 群No.3	前橋市上細井 町	市教委 松村輝敏 村越純子	土地改良・16646	令2.6.16 ～令3.2.26	縄文土坑、奈良・平安住居跡、掘立柱建 物跡、溝跡
3	元総社蒼海遺跡群 (140)	前橋市元総社 町	(有)毛野考古学研究所 高橋清文	元総社蒼海土地 区画整理事業・ 326	令2.6.18 ～令2.8.12	古墳・平安住居跡、中世蒼海城堀跡
4	元総社蒼海遺跡群 (141)	前橋市元総社 町	技研コンサル(株) 中村 岳	元総社蒼海土地 区画整理事業・ 559	令2.6.12 ～令2.7.20	古墳・飛鳥・平安住居跡、奈良・平安道路 状遺構
5	元総社蒼海遺跡群 (144)	前橋市総社町 総社	市教委 小峰 篤 岩丸展久	元総社蒼海土地 区画整理事業・ 125	令2.5.29 ～令2.7.21	平安住居跡、土坑、古墳溝跡
6	元総社蒼海遺跡群 (145)	前橋市元総社 町総社	技研コンサル(株) 佐野良平	元総社蒼海土地 区画整理事業 1467	令2.11.4 ～令2.12.25	古墳・平安住居跡、平安竪穴状遺構、小 金銅仏出土
7	元総社蒼海遺跡群 (75街区)No.2	前橋市総社町	技研コンサル(株) 岡野 茂 前田和昭	元総社蒼海土地 区画整理事業・ 524	令2.6.4 ～令2.7.13	古墳・平安住居跡、工房跡、鋳型・取瓶・ 埴埴出土
8	元総社北小学校遺 跡	前橋市元総社 町総社	技研コンサル(株) 中村岳彦	プール改築建築 工事・208	令2.11.1 ～令2.12.2	弥生・古墳・奈良・平安住居跡、中世道路 状遺構
9	池端屋敷小路遺跡	前橋市池端町	技研コンサル(株) 高橋政充	清里地区南北幹 線2期整備事業・ 436	令2.5.20 ～令2.6.8	古墳周堀、平安土坑、近世溝跡
10	田口滝ノ前遺跡	前橋市田口町	技研コンサル(株) 三宅敦気	道の駅整備運営 事業・2164	令2.5.11 ～令2.8.3	As-B軽石下水田、Hr-FA洪水層下水田
11	荻窪倉兼Ⅲ遺跡	前橋市荻窪町	山下工業(株) 永井智教	受水場配水池築 造・1239	令2.5.10 ～令2.7.22	奈良・平安住居跡、掘立柱建物
12	上泉下中峯遺跡	前橋市上泉町	山下工業(株) 永井智教	公園造成・1084	令2.7.30 ～令2.10.7	奈良・平安住居跡、奈良掘立柱建物、縄 文・奈良土坑
13	朝倉上廊遺跡	前橋市朝倉町	(株)シン技術コンサル 福嶋正史	道路建設・1620	令2.7.6 ～令2.11.18	奈良・平安住居跡、溝跡(大型の溝跡含)
14	川曲柳橋Ⅳ遺跡	前橋市川曲町	技研コンサル(株) 中村岳彦	校舎建築・1520	令2.3.23 ～令2.4.17	平安水田跡
15	総社昌楽寺廻廊道 遺跡No.2	前橋市総社町 総社	(株)シン技術コンサル 小林一弘	宅地造成・193	令2.4.3 ～令2.5.1	古墳・平安住居跡、溝跡
16	西片貝東高縄遺跡	前橋市西片貝 町五丁目	市教委 並木史一 寺内勝彦	事務所建設・93	令2.6.16 ～令2.6.17	奈良住居跡、溝跡
17	西片貝西大道遺跡	前橋市西片貝 町一丁目	市教委 並木史一 寺内勝彦	宅地造成・20	令2.11.20 ～令2.11.21	平安住居跡
18	堤下原間遺跡	前橋市堤町	市教委 並木史一 寺内勝彦	駐車場整備・12	令2.12.14	平安住居跡
19	総社高井向原遺跡	前橋市総社町 高井	市教委 並木史一 寺内勝彦	店舗建設・15	令3.3.30	平安住居跡
20	総社二子山古墳	前橋市総社町 植野	市教委 小川卓也	範囲内容確認調 査・165	令2.9.1 ～令2.10.31	古墳

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
21	あたごやま 愛宕山古墳	前橋市総社町 総社	市教委 小川卓也	範囲内容確認調 査・166	令2.11.1 ～令3.2.28	古墳
1	たかやま 高崎市 おおやぎてらひら 大八木寺東遺跡	高崎市大八木 町・小八木町	技研コンサル(株) 佐野良平	工場建設・950	令2.3.5 ～令2.4.28	弥生～古代竪穴建物101、古墳方形周溝 墓、古代溝3
2	わたなせ 綿貫遺跡群・下滝遺 跡群	高崎市綿貫 町・下滝町	市教委 大野義人 外所光明 櫻井 条 櫻井 衛 深澤みどり 須永 忍	産業団地造成・ 8,561	令2.4.1 ～令3.3.31	古墳～古代竪穴建物100、方形周溝墓、 溝、古代基壇
3	むなかた 棟高遺跡群第20次	高崎市棟高町	市教委 奈良祥吾 神戸聖語	土地区画整理・ 3,490	令2.4.1 ～令3.3.31	古墳島、古代竪穴建物1、掘立柱建物 3、溝1
4	おしろいりいちばしほへん 卸売市場周辺遺跡	高崎市下大類 町・柴崎町	市教委 山本ジェームズ 櫻井 条 外所光明 飯島克巳 村井田雅明 飯塚 誠	産業団地造成・ 23,850	令2.4.1 ～令3.3.31	古代竪穴建物2、水田、溝状遺構119
5	しほよこて りぐち 宿横手樋口遺跡第 3次	高崎市横手町	市教委 秋元恵里子 須永 忍	都市計画道路築 造・970	令2.4.1 ～令2.11.30	古墳水田、馬蹄痕、溝7、古代竪穴建 物8、溝2
6	ほ じ た ほちまんづか 保渡田八幡塚遺跡 第4次	高崎市保渡田 町	市教委 清水 豊	個人住宅建設・39	令2.4.13 ～令2.4.17	古代土坑1、中世溝1
7	い で やつら 井出谷頭遺跡第8 次	高崎市井出町	市教委 南雲博文 田村 孝	都市計画道路築 造・160	令2.4.8 ～令2.6.2	古墳溝1、谷地形落込み
8	しんまちと さき 新町戸崎遺跡第2 次	高崎市新町	市教委 矢島 浩 坂井 隆	体育館建設・6,200	令2.4.20 ～令3.3.31	鐘紡新町工場に敷設する女子寮建物
9	こうずけとくふんに じあと 上野国分尼寺跡第 5次	高崎市東国分 町	市教委 田辺芳昭 金子智一	重要遺跡範囲確 認・450	令2.5.11 ～令2.8.28	金堂位置・規模判明、回廊跡で5か所礎 石確認
10	しもの じょう 下之城遺跡群第9 次	高崎市之城町・ 倉賀野町・矢 中町	市教委 茂木由行 小根澤雪絵	土地区画整理・ 2,135	令2.5.11 ～令2.12.22	古墳竪穴建物11、古代水田、溝1
11	ほんごうつかなか 本郷塚中遺跡	高崎市本郷町	市教委 清水 豊 相京建史 伊藤 肇 田村 孝	個人住宅建設・72	令2.5.21 ～令2.6.4	縄文土坑1、古墳後期古墳2
12	あ じ ろ しほへん 多胡碑周辺遺跡第 10次	高崎市吉井町 池	市教委 小根澤雪絵	重要遺跡範囲確 認・126.51	令2.6.2 ～令2.9.16	古代竪穴建物1、溝2、土坑2
13	すがや ちから 菅谷村東遺跡第6 次	高崎市菅谷町	(株)飯塚組 藤田 登	宅地造成・318	令2.6.22 ～令2.7.3	古代竪穴建物4、土坑4、溝1
14	い で 井出遺跡群	高崎市井出町	市教委 南雲博文 田村 孝	運動公園拡張整 備・7,900	令2.7.1 ～令3.3.25	弥生溝、古墳水田、古代水田、竪穴建 物2、溝2
15	なかいけおしゅうどう 中泉十王堂遺跡第 4次	高崎市中泉町	(有)高澤考古学研究所 澤田福宏	宅地造成・401.64	令2.7.13 ～令2.9.30	古代竪穴建物6、島、溝2、井戸2
16	くらが の はしひら 倉賀野橋東遺跡	高崎市倉賀野 町	(有)高澤考古学研究所 高階敏昭	宅地造成 211.57	令2.8.11 ～令2.9.30	古墳土坑1、古代竪穴状遺構1、中世 火葬墓
17	や わたあとかん 八幡後観音遺跡第 4次	高崎市八幡町	市教委 奈良祥吾 神戸聖語	枝線下水道築造 工事・144	令2.8.12 ～令3.3.31	古墳周堤一部、前方部一部、竪穴建物 1
18	や わたふたごづか 八幡二子塚遺跡第 2次	高崎市八幡町	市教委 奈良祥吾 神戸聖語	枝線下水道築造 工事・80	令2.8.12 ～令3.3.31	弥生-古代竪穴建物5、溝3
19	ひきまお 引間青木遺跡第3 次	高崎市引間町	(有)歴史考房 まほら 笠原仁史 山崎芳春	宅地造成・1,180.4	令2.9.23 ～令2.11.27	古代竪穴建物10、時期不明溝、土坑、 ビット多数
20	まにわみやもり 馬庭宮森遺跡	高崎市吉井町 馬庭	市教委 小根澤雪絵	個人住宅建設・41	令2.11.30 ～令2.12.5	古代整地層1
21	しもさいだ よろく 下齋田与六遺跡	高崎市下齋田 町	市教委 清水 豊	個人住宅建設・43	令2.12.21 ～令2.12.24	古墳後期古墳1

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
22	しほくおおるいつかのこし 宿大類塚之越遺跡	高崎市宿大類町	市教委 田辺芳昭 山本ジェームズ 飯島克巳 飯塚 誠 村井田雅明	産業団地造成・ 3,200	令3.1.4 ～令3.3.31	古代水田、溝、土坑
23	しもわだまぢいつちうづめ 下和田町一丁目遺跡	高崎山下和田町	市教委 清水 豊 相京建史 伊藤 肇	個人住宅建設・46	令3.2.2 ～令3.2.4	古代竪穴建物1、掘立柱建物1
1	きりゆうし 桐生市 びんしほく 東宿遺跡	桐生市川内町 三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・2	令2.4.17	時期不明柱穴1
2	ひがししみずま まうえ 東清水間々上遺跡	桐生市相生町 一丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	令2.5.13	なし
3	なかばやし 中林遺跡	桐生市相生町 二丁目	市教委 新井雅幸	宅地造成・9	令2.6.2 ～令2.6.4	なし
4	なかがいど 中谷遺跡	桐生市黒保根 町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・ 6	令2.7.16	なし
5	なかがいど 中谷遺跡	桐生市黒保根 町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・ 3	令2.7.16	なし
6	なかがいど 中谷遺跡	桐生市黒保根 町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・ 3	令2.7.16	なし
7	なかがいど 中谷遺跡	桐生市黒保根 町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・ 6	令2.7.16	なし
8	なかがいど 中谷遺跡	桐生市黒保根 町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・ 3	令2.7.16	なし
9	いこうじあな 医光寺南遺跡	桐生市黒保根 町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・ 3	令2.7.16	なし
10	なかがいど 中谷遺跡	桐生市黒保根 町上田沢	市教委 新井雅幸	太陽光発電施設・ 3	令2.7.16	なし
11	おくさわさんていなかぬまつみ 奥沢三堤中沼堤	桐生市新里町 奥沢	市教委 加部二生	溜池防災工事・ 229.32	令2.7.20 ～令2.10.30	溜池堤、木杭列、地鎮遺構
12	おかのうえ 岡ノ上遺跡	桐生市広沢町 三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	令2.8.28	なし
13	なかばやし 中林遺跡	桐生市相生町 二丁目	市教委 新井雅幸	宅地造成・24	令2.9.16 ～令2.9.22	時期不明柱穴1
14	ふじみがおか 富士見ヶ丘3遺跡	桐生市広沢町 二丁目	市教委 新井雅幸	集合住宅・219.75	令2.10.5 ～令2.10.30	中世～近世土坑4、柱穴20、溝状遺構4、土塁状遺構1、井戸跡1
15	ふじみがおか 富士見ヶ丘2遺跡	桐生市広沢町 二丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・3	令2.10.14	なし
16	なかざとしろ 中里後遺跡	桐生市広沢町 一丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・2	令2.10.19	古墳住居1
17	ふじみがおか 富士見ヶ丘2遺跡	桐生市広沢町 二丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・2	令2.10.11	なし
18	ふじみがおか 富士見ヶ丘2遺跡	桐生市広沢町 二丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・2	令2.10.11	なし
19	しんめい 神明遺跡	桐生市広沢町 三丁目	市教委 新井雅幸	宅地造成・219.75	令2.12.14 ～令2.12.28	時期不明柱穴2
20	なかざとしろ 中里後遺跡	桐生市広沢町 一丁目	市教委 新井雅幸	建売住宅・1	令2.12.16	時期不明柱穴2
21	たけいうちで 武井内出V遺跡	桐生市新里町 武井	市教委 加部二生	個人住宅・156	令2.12.17 ～令3.3.22	古墳～平安竪穴建物12、中世土塁、溝状遺構3、土坑4
22	ひがしほく 東宿遺跡	桐生市川内町 三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	令2.12.18	なし
23	おかのうえ 岡ノ上遺跡	桐生市広沢町 三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・1	令2.12.28	なし
24	にしがわかみうら 西側上浦遺跡	桐生市相生町 一丁目	市教委 新井雅幸	宅地造成・10	令3.1.13 ～令3.1.20	なし
25	たけいみねざし 武井峯岸VI遺跡	桐生市新里町 武井	市教委 加部二生	道路・158.59	令3.1.25 ～令3.3.29	縄文前期竪穴建物1、古墳前期竪穴建物1、土坑6
26	なかばやし 中林遺跡	桐生市相生町 二丁目	市教委 新井雅幸	ガス・10	平令3.2.3 ～令3.2.5	なし

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
27	神明遺跡	桐生市広沢町三丁目	市教委 新井雅幸	個人住宅・2	令3.3.24	なし
1	伊勢崎市 上植木廃寺	伊勢崎市本関町	市教委 出浦 崇 高山一也	個人住宅・110	令2.5.7 ～令2.6.5	回廊基壇、土坑1
2	田島弥平旧宅	伊勢崎市上境島村	市教委 和久美緒 高山一也 藤本 望	内容確認・42	令2.6.1 ～令2.8.31	石組遺構、敷石遺構等幕末～近代の遺構
3	上植木廃寺	伊勢崎市本関町	市教委 出浦 崇 町田志乃 新井啓泰	個人住宅・110	令2.6.10 ～令2.6.30	古代土坑3、溝3
4	伊勢崎城跡	伊勢崎市曲輪町	山下工業(株) 青木利文	区画整理・1,857	令2.6.10 ～令2.12.28	平中世堀、井戸、墓、竪穴、土坑、ピット、近世城堀跡、溝、井戸、土坑、近代建物跡、井戸、道路跡、カマド
5	北通西遺跡	伊勢崎市五目牛町	市教委 早川隆弘 新井啓泰	工場及び倉庫・94	令2.7.13 ～令2.7.31	古代竪穴建物3
6	寺回遺跡	伊勢崎市市場町一丁目	山下工業(株) 永井智教	分譲地造成・304	令2.10.27 ～令2.11.12	近世溝1、近代段切遺構1
7	三軒屋遺跡	伊勢崎市上植木本町	市教委 出浦 崇 高山一也	内容確認・100	令2.12.1 ～令3.1.15	古代掘立柱建物5、中世溝1、土坑、ピット
8	下湖名遺跡	伊勢崎市境下湖名	山下工業(株) 青木利文	倉庫建設・282	令3.1.15 ～令3.2.22	古代竪穴建物20、竪穴状遺構1、土坑、井戸、ピット
9	権現山北遺跡	伊勢崎市豊城町	市教委 早川隆弘 新井啓泰	分譲地造成・92	令3.2.16 ～令3.3.3	古墳溝1、中世溝1
10	中島遺跡、横塚古墳群	伊勢崎市日乃出町	市教委 早川隆弘 高山一也	工場建設・74	令3.3.15 ～令3.3.31	古墳竪穴建物5
1	太田市 反丸遺跡	太田市吉沢町	市教委 遠坂純伸 上野優真 岩井直人 (有)毛野考古学研究所 伊藤順一 須田 茂	産業団地 5,000	令2.4.1 ～令2.8.31	古墳竪穴建物91、土坑28、溝2
2	北之庄遺跡	太田市西由良町	山下工業(株) 青木利文	鉄塔建設 136	令2.4.10 ～令2.4.30	古代竪穴建物1、古代～中世柵列2、井戸4、土坑2、柱穴31、近世堀1、井戸1
3	川向・中西田遺跡	太田市内ヶ島町	市教委 長谷川幸男 (有)毛野考古学研究所	宅地造成 17	令2.7.2 ～令2.7.3	古代竪穴建物2、古墳～古代土坑4
4	東今泉鹿島遺跡	太田市東今泉町	高橋清文 須田 茂 山本杏子	倉庫建設 1,461	令2.9.28 ～令2.12.15	古墳～古代竪穴建物20、古代水田跡2、縄文遺物包含層12
5	東今泉鹿島遺跡	太田市東今泉町	(有)毛野考古学研究所 井上 太 山本千春	調整池拡張工事 1,435	令2.11.16 ～令3.1.21	古代竪穴建物1、掘立柱建物6、古墳～古代土坑24、溝7、柱穴263
6	房塚遺跡	太田市内ヶ島町	市教委 山口高志	建売住宅 54	令2.11.17 ～令2.11.25	古墳溝1
7	東部地区遺跡群	太田市堀口町	市教委 岩松大輔	道路築造 31	令2.11.19 ～令2.11.30	中世溝1、柱穴列2、土壌墓1
8	東今泉鹿島遺跡	太田市東今泉町	(有)毛野考古学研究所 浅間 陽 恋河内明彦	倉庫建設 2,234	令3.2.5 ～令3.3.31	古代竪穴建物10、古代～中世掘立柱建物5、井戸11
1	沼田市 沼田城跡	沼田市西倉内町	市教委 永井三郎	保存目的の確認 調査 576㎡	令2.5 ～令2.10	本丸堀、馬出の一部
1	館林市 青柳城跡	館林市青柳町	市教委 宮田圭祐	宅地造成・60	令2.6.13 ～令2.6.24	溝1、土坑3、井戸1
2	館林城跡・城下町	館林市朝日町	市教委 宮田圭祐	集合住宅・22	令2.7.20 ～令2.7.21	土坑1、ピット2
3	若宮遺跡	館林市若宮町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・36	令2.10.12 ～令2.10.15	なし

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
4	北近藤第二地点遺跡	館林市苗木町	市教委 宮田圭祐	その他建物・38	令2.12.11 ～令2.12.17	なし
5	下新田遺跡	館林市赤生田町	市教委 宮田圭祐	個人住宅・18	令3.1.26 ～令3.1.27	溝2、土坑1
6		館林市大島町	市教委 宮田圭祐	工業団地造成・64	令2.12.25 ～令3.2.25	大島地区試掘調査
1	渋川市中郷田尻遺跡	渋川市中郷608-12	市教委 平石冬馬	個人住宅建設工事・18	令2.5.20 ～令2.6.11	平安竪穴建物1、ピット等
2	瀧沢石器時代遺跡	渋川市赤城町滝沢310ほか	市教委 後藤佳一	史跡保存整備・110	令2.9.3 ～令3.3.11	縄文晩期竪穴建物1等
3	吹屋恵久保遺跡	渋川市吹屋380-1ほか	市教委 小林良光	市道付替工事及び公民館増築工事・273	令2.12.16 ～令3.3.31	古墳道跡・馬蹄痕
4	半田築地前遺跡	渋川市半田字築地前644-3ほか	市教委 荒木勇次	宅地造成工事・30	令3.3.1 ～令3.3.26	平安竪穴建物3、土坑3、溝3等
1	藤岡市牛田・川除地区遺跡群	藤岡市牛田・川除	市教委 水塚健太郎 齋藤直樹	農業基盤整備事業 4,800	令2.4.13 ～令3.3.31	古墳7、古墳～平安住居跡28、土坑・ピット多数
2	大林E遺跡	藤岡市中栗須	市教委 井上 勉 (有)毛野考古学研究所 山本千春 山本杏子 春里桃子	自動車販売店舗建設 1,007	令2.6.22 ～令2.8.20	古墳～平安住居跡10、掘立柱建物6、土坑24、ピット263、溝1
1	富岡市一ノ宮諏訪遺跡	富岡市富岡	市教委 永井 宝 大日方貴史 笠原佳真	土地改良・2,898	令2.9.23 ～令3.3.19	縄文住居1、古墳住居45、井戸6、溝6、土坑67
2	史跡中高瀬観音山遺跡	富岡市下高田	市教委 水田雅美 水谷貴之	学術調査・400	令3.3.4 ～令3.3.31	弥生住居4、方形周溝墓1、溝1、古墳住居1、中世溝1、時期不明住居3
3	一ノ宮西丹生森遺跡	富岡市富岡	市教委 永井 宝 大日方貴史 笠原佳真	土地改良・5,720	令2.6.1 ～令3.3.19	古墳住居48、古代住居52、竪穴状遺構2、堀立4、井戸4、溝6、土坑135、焼土坑2、埋設土器2
4	史跡旧富岡製糸場	富岡市富岡	市教委 水田雅美 清水 司 津金澤吉茂	学術調査・138	令2.5.7 ～令3.3.26	乾燥場・藪扱場保存整備、総合防災工事に伴う調査等
1	みどり市西原遺跡第5地点	みどり市笠懸町西鹿田	市教委 田口佳菜	宅地造成・220	令2.7.6 ～令2.7.17	古墳建物跡2・土坑8
2	谷端遺跡第5地点	みどり市笠懸町阿左美	市教委 田口佳菜	老人ホーム・290	令2.8.24 ～令2.8.29	遺構なし
3	天神遺跡第3地点	みどり市笠懸町鹿	市教委 田口佳菜	小学校建設・419	令2.8.4 ～令2.8.25	古代建物跡1
4	天神遺跡第4地点	みどり市笠懸町鹿	市教委 田口佳菜	小学校建設・60	令2.8.24 ～令2.8.25	古代建物跡1
5	天神遺跡第5地点	みどり市笠懸町鹿	市教委 田口佳菜	小学校建設・6	令2.9.10 ～令2.9.11	遺構なし
6	天神遺跡第1次本調査	みどり市笠懸町鹿	市教委 田口佳菜	小学校建設・6,870	令2.8.19 ～令2.12.6	古代建物跡20・古代土坑54・柱穴状遺構36・井戸2・竪穴状遺構1・掘立柱建物1・江戸溝1
7	向山遺跡・清水北口遺跡本調査	みどり市笠懸町西鹿田・鹿	(株)測研 茂木孝行	運動場造成・約10,900	令3.1.4 ～令3.6.30	<向山遺跡>縄文建物22・土坑226・柱穴状遺構54・柵列1・溝1、古墳3(石室1)、溝3 <清水北口遺跡>縄文建物1・土坑6・柱穴状遺構7・溝2
8	西原遺跡第5地点本調査	みどり市笠懸町西鹿田	市教委 田口佳菜	土地売買・143	令3.2.4 ～令3.3.1	古墳建物跡2
1	北群馬郡榛東村十日市遺跡Ⅱ	榛東村大字山子田字十日市47番2、48番1・23、49番1、50番	村教委 角田祥子 (株)歴史の杜 小宮山達雄	渋川広域消防署南分署建設・270㎡	令2.9.15 ～令2.10.8	平安住居3・竪穴状遺構1、中世土坑墓2ほか

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
1	甘楽群下仁田町 金剛萱遺跡	下仁田町大字 青倉字金剛萱	金剛萱遺跡研究会 麻生敏隆	学術調査・60	令2.10.2 ～令2.10.4	後期旧石器前半遺物包含層
1	甘楽群甘楽町 小川遺跡・笹遺跡	下甘楽町大字 小川	町教委 小安和順 中村岳彦	認定こども園建 設・550	令3.1.6 ～令3.2.10	縄文落とし穴1、弥生住居跡6、古墳 住居3
1	吾妻郡長野原町 望光原Ⅱ遺跡	長野原町大字 応桑	町教委 富田孝彦 高橋人夢	太陽光発電所建 設 75	令2.5.13	なし
2	榛木沢遺跡	長野原町大字 古森	町教委 富田孝彦 高橋人夢	太陽光発電所建 設 60	令2.5.21	なし
3	長畝Ⅱ遺跡	長野原町大字 与喜屋	町教委 富田孝彦	個人住宅 9	令2.11.30	なし
1	吾妻郡高山村 中山原遺跡	高山村大字中 山	村教委 富澤敏弘 佐藤章彦	土地改良事業 2,015	令2.1.26 ～令2.3.1	試掘調査 縄文竪穴建物12、縄文土抗 80、落とし坑3、古代竪穴建物5、溝 5
1	利根郡昭和村 昭和村役場遺跡	昭和村 糸井 388番地	村教委 石北直樹	役場庁舎建設・ 100	令2.7.23 ～令2.7.26	試掘調査。遺構・遺物なし
1	邑楽郡明和町 矢島向新田遺跡	明和町矢島	町教委 立川明浩	集客施設用地 7,600	令2.4.1～	縄文住居・縄文土坑
1	邑楽郡千代田町 八幡山古墳(西ノ原 古墳群2号墳)	千代田町大字 新福寺字西ノ 原	町教委 坂川 剛 森 茂人	太陽光発電施設・ 54.6	令2.4.22～	試掘、確認調査
2	道南3遺跡	千代田町大字 新福寺字道南	町教委 坂川 剛 森 茂人	太陽光発電施設・ 82.1	令2.9.3	試掘、確認調査
3	西ノ原4遺跡	千代田町大字 新福寺字西ノ 原	町教委 坂川 剛 森 茂人	駐車場造成・5225	令2.10.6 ～令2.10.7	試掘、確認調査
4	西ノ原西ノ原群9 号墳	千代田町大字 新福寺字西ノ 原	町教委 坂川 剛 森 茂人	駐車場造成・660	令2.10.6 ～令2.10.7	試掘、確認調査
5	西ノ原西ノ原群10 号墳	千代田町大字 新福寺字西ノ 原	町教委 坂川 剛 森 茂人	駐車場造成・ 907.4	令2.7.23 ～令2.7.26	試掘、確認調査
6	西ノ原西ノ原群11 号墳	千代田町大字 新福寺字西ノ 原	町教委 坂川 剛 森 茂人	駐車場造成・ 3,349.2	令2.10.6 ～令2.10.7	試掘、確認調査
7	仲田1遺跡	千代田町大字 鍋谷字仲田	町教委 坂川 剛 森 茂人	駐車場造成・ 645.4	令2.12.9 ～令2.12.10	試掘、確認調査
1	邑楽郡大泉町 仙石専光寺付近遺 跡	大泉町仙石	町教委 坂本泰斗 金子一穂	建売住宅6棟・ 1462	平令2.7.7	検出なし
2	大泉町間之原遺跡	大泉町城之内	町教委 坂本泰斗 金子一穂	宅地造成 (土地分譲5戸)・ 1,997.85	令2.7.10	カクラン、検出なし
3	横町遺跡	大泉町中央	町教委 坂本泰斗 金子一穂	集合住宅・392.93	令2.12.16	カクラン、検出なし

※群馬県埋蔵文化財調査事業団は「Ⅱ事業概要1 発掘調査事業概要」参照

2 令和2年度群馬県内整理事業一覧

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	前橋市 上野国府等範囲内容確認調査	市教委 阿久澤智和 齋藤 颯	令2.12.5 ～令3.3.31	令2.6.1 ～令2.12.4	古代礎石建物跡、古代溝跡、古代道路跡、古墳・平安住居跡
2	元総社蒼海遺跡群(140)	(有)毛野考古学研究所 高橋清文	令2.8.13 ～令3.3.16	令2.6.18 ～令2.8.12	古墳・平安住居跡、中世蒼海城堀跡
3	元総社蒼海遺跡群(141)	技研コンサル(株) 中村岳彦	令2.7.21 ～令2.10.30	令2.6.12 ～令2.7.20	古墳・飛鳥・平安住居跡、奈良・平安道路状遺構
4	元総社蒼海遺跡群(145)	技研コンサル(株) 佐野良平	令3.1.4 ～令3.3.25	令2.11.4 ～令2.12.25	古墳・平安住居跡、平安竪穴状遺構、小金銅仏出土
5	元総社蒼海遺跡群(75街区)No.2	技研コンサル(株) 岡野 茂 前田和昭	令2.7.14 ～令2.10.31	令2.6.4 ～令2.7.13	古墳・平安住居跡、工房跡、鋳型・取瓶・埴埴出土
6	西部第一落合遺跡群(1)	技研コンサル(株) 佐野良平	令2.6.1 ～令2.10.30	令元.12.18 ～令2.3.24	平安住居跡、古代～中世溝・堀跡
7	元総社北小学校遺跡	技研コンサル(株) 中村岳彦	令2.11.24 ～令3.1.29	令2.11.1 ～令2.12.2	弥生・古墳・奈良・平安住居跡、中世道路状遺構
8	池端屋敷小路遺跡	技研コンサル(株) 高橋政充	令2.6.15 ～令2.7.30	令2.5.20 ～令2.6.8	古墳周堀、平安土坑、近世溝跡
9	田口滝ノ前遺跡	技研コンサル(株) 三宅敦気	令2.6.29 ～令2.9.30	令2.5.11 ～令2.8.3	As-B軽石下水田、Hr-FA洪水層下水田
10	上泉下中峯遺跡	山下工業(株) 永井智教	令2.10.19 ～令3.2.28	令2.7.30 ～令2.10.7	奈良・平安住居跡、奈良掘立柱建物、縄文・奈良土坑
11	朝倉上郎遺跡	(株)シン技術コンサル 福嶋正史	令2.11.18 ～令3.3.19	令2.7.6 ～令2.11.18	奈良・平安住居跡、溝跡(大型の溝跡含)
12	川曲柳橋IV遺跡	技研コンサル(株) 茂木佑輔	令2.4.20 ～令2.7.31	令2.3.23 ～令2.4.17	平安水田跡
13	総社昌楽寺廻窪道遺跡No.2	(株)シン技術コンサル 小林一弘	令2.5.2 ～令2.7.31	令2.4.3 ～令2.5.1	古墳・平安住居跡、溝跡田
1	高崎市 若田坂上遺跡第1次・第3次	市教委 山本ジェームズ	平27.1.14 ～平27.3.31、 平28.6.1 ～平29.3.31、 平30.3.21 ～平30.3.31	平26.4.28 ～平27.1.13、 平27.8.24 ～平28.5.31、 平29.11.13 ～平30.3.20	縄文竪穴建物、土坑、ピット、弥生竪穴建物、礎床墓、土器棺墓、古墳竪穴建物、土坑墓、石槨墓、古代竪穴建物、中近世古
2	中泉源十内遺跡	山下工業(株) 青木利文	平31.4.4 ～令2.3.31	平31.2.22 ～平31.4.3	古代竪穴建物3、掘立柱建物1、中世掘立柱建物1
3	金古町遺跡第3次	(有)毛野考古学研究所 南田法正	令元.9.28 ～令2.3.31	令元.8.19 ～令元.9.27	古代竪穴建物9、掘立柱建物2、溝1
4	矢中野栗遺跡	(有)毛野考古学研究所 井上 太 春里桃子	令2.1.20 ～令2.6.30	令元.12.23 ～令2.1.18	古代水田、溝2、ピット1
5	綿貫堤西遺跡	市教委 秋元恵里子	令2.3.6 ～令3.3.31	令2.1.9 ～令2.3.5	古代水田、溝1、中世土坑2
6	上滝新堀北遺跡	(株)測研 高橋真人	令2.4.1 ～令2.7.22	令2.1.27 ～令2.3.31	古代竪穴建物7、井戸2、溝9、土坑・ピット多数
7	下小端屋敷裏遺跡・多比良沓ツ家遺跡	市教委 飯島克巳 小根澤雪絵	令2.4.1 ～令3.3.29	令2.1.6 ～令2.3.24、 令元.12.26 ～令2.3.26	古墳～古代竪穴建物28、溝7、土坑18
8	大八木寺東遺跡	技研コンサル(株) 佐野良平	令2.5.1 ～令2.7.31	令2.3.5 ～令2.4.28	弥生～古代竪穴建物101、古墳方形周溝墓、古代溝3
9	中林遺跡第2次	市教委 田辺芳昭	令2.5.11 ～令3.3.26	令元.12.13 ～令2.1.31	縄文土坑1、古代溝1、中世溝1、土坑2
10	菅谷村東遺跡第6次	飯塚組 藤田 登	令2.7.4 ～令2.10.31	令2.6.22 ～令2.7.3	古代竪穴建物4、土坑4、溝1
11	多胡碑周辺遺跡第10次	市教委 小根澤雪絵	令2.9.17 ～令3.3.29	令2.6.11 ～令2.9.16	古代竪穴建物1、溝2、土坑2

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	桐生市 大雄院前遺跡	市教委 新井雅幸	令2.6.26 ～令3.3.31	令元.10.15 ～令2.6.25	縄文住居跡4・土坑60、古式土師住居跡5、古墳住居跡21、古代土坑1、時期不明土坑7
2	童子原遺跡	市教委 新井雅幸	令2.4.1 ～令3.3.31	令元.7.23 ～令元.7.25	縄文土坑3、平安住居跡2
3	大雄院前遺跡	市教委 新井雅幸	令2.4.1 ～令3.3.31	令2.2.25	縄文竪穴建物1、古墳竪穴建物1
4	桃井塚遺跡	市教委 新井雅幸	令2.4.1 ～令3.3.31	令元.8.16 ～令元.12.16	竪穴状遺構、土坑
5	梨子木M遺跡	市教委 加部二生	令2.4.1 ～令3.3.31	令元.11.5 ～令2.3.19	古墳～奈良竪穴建物4、溝状遺構1ほか
1	伊勢崎市 今井学校遺跡	山下工業(株) 永井智教	令2.4.1 ～令3.3.15	令元.10.1 ～令元.12.27	古墳豪族居館1、古墳2、竪穴建物10
2	喜多町遺跡	(有)毛野考古学研究所 浅間 陽	令2.4.22 ～令2.12.25	令元.10.15 ～令2.2.28	古墳前方後方形周溝墓1、竪穴建物2、中世溝47、縄文土坑1、近現代土坑27、近世井戸8
3	上植木廃寺	市教委 出浦 崇	令2.8.1 ～令3.3.31	令2.5.7 ～令2.6.5	回廊墓壇、土坑1
4	寺回遺跡	山下工業(株) 永井智教	令2.11.13 ～令3.3.31	令2.10.27 ～令2.11.12	近世溝1、近代段切遺構1
5	伊勢崎城跡	山下工業(株) 青木利文	令3.1.4 ～令3.3.15	令2.6.10 ～令2.12.28	中世堀、井戸、墓、竪穴、土坑、ピット、近世城堀跡、溝、井戸、土坑、近代建物跡、井戸、道路跡、カマド
6	下淵名遺跡	山下工業(株) 青木利文	令3.2.24 ～令3.3.31	令3.1.15 ～令3.2.22	古代竪穴建物20、竪穴状遺構1、土坑、井戸、ピット
1	太田市 駒形神社壇輪窯跡	市教委 遠坂純伸	令2.5.11 ～令3.3.23	昭62.4.5 ～昭62.7.8	古墳壇輪窯跡
2	北之庄遺跡	市教委 岩松大輔	令2.4.20 ～令3.3.26	平21.10.26 ～平21.11.6、 平28.5.18 ～平28.6.20	古墳方形周溝墓
3	太田市内遺跡	市教委 長谷川幸男	令2.4.1 ～令3.3.31	平31.4.1 ～令2.3.31	確認調査
4	北之庄遺跡	山下工業(株) 青木利文	令2.5.1 ～令2.8.24	令2.5.1 ～令2.8.24	古代～近世集落
5	反丸遺跡	(有)毛野考古学研究所 伊藤順一	令2.8.31 ～令2.3.31	平29.12.26 ～令2.8.31	古墳集落
6	東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、 推定東山道駅路南ルート	(有)毛野考古学研究所 高橋清文 有山径世 須田 茂	令2.12.16 ～令3.3.31	令2.9.28 ～令2.12.15	古墳～古代集落
7	東今泉鹿島遺跡	(有)毛野考古学研究所 山本千春	令3.1.22 ～令3.3.31	令2.11.16 ～令3.1.21	古代集落
1	沼田市 沼田城跡	市教委 永井三郎	令2.10 ～令3.3	令2.5 ～令2.10	城館
1	館林市 広内町1遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	平31.4.16 ～平31.4.23	溝3
2	間堀1遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	令元.5.10 ～令元.5.23	土坑12
3	北小袋遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	令元.7.26 ～令元.8.1	炭焼き窯1、土坑6
4	大街道遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	令元.11.8 ～令元.11.15	土坑1
5	館林城跡・城下町	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	令元.11.29 ～令元.12.7	住居址1、焼成土坑1
6	大袋1遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	令2.1.9 ～令2.1.10	—
7	天神遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	令2.1.16 ～令2.1.25	溝3、土坑2

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
8	館林城跡・城下町、尾曳町2遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.5.28 ～令3.2.5	令2.2.27 ～令2.3.11	下級武士長屋跡、溝8、土坑6
9	青柳城跡	市教委 宮田圭祐	令2.6.24 ～令3.2.5	令2.6.13 ～令2.6.24	溝1、土坑3、井戸1
10	館林城跡・城下町	市教委 宮田圭祐	令2.7.21 ～令3.2.5	令2.7.20 ～令2.7.21	土坑1、ピット2
11	若宮遺跡	市教委 宮田圭祐	令2.10.15 ～令3.2.5	令2.10.12 ～令2.10.15	なし
1	澁川市 白井尖野遺跡	市教委 荒木勇次	平26.6.9 ～令3.3.31	平4.3.27 ～平4.6.10	後期古墳1、平安住居跡1、土坑10
1	藤岡市 牛田・川除地区遺跡群	市教委 針谷友規	令2.4.13 ～令3.3.31	平31.4.1 ～令2.3.31	古墳～古代住居跡・掘立柱建物跡、土坑・ピット、溝、古代寺院
2	大林E遺跡	(有)毛野考古学研究所 伊藤順一 山本杏子	令2.2.1 ～令3.12.28	平28.7.28 ～平29.2.28、 平30.6.19 ～平31.1.31	古墳～平安住居跡35、掘立柱建物9、土坑126、ピット1639、溝14
3	大林E遺跡	パリオ・サーヴェイ(株) 大塚昌彦	令2.8.11 ～令3.1.29	令2.1.28 ～令3.1.29	奈良・平安住居跡2、掘立柱建物1、土坑5、窯跡14
4	大林F遺跡	(有)毛野考古学研究所 山本千春	令2.8.21 ～令3.1.29	令2.6.22 ～令2.8.20	古墳～平安住居跡9、掘立柱建物7、土坑24、ピット262、溝1
5	三ツ木東原B遺跡	(有)毛野考古学研究所 常深 尚	令2.6.16 ～令3.2.26	平29.7.31 ～平29.12.22	旧石器環状ブロック1、縄文土坑39、古墳2、古墳～平安住居跡3・土坑3・ピット149
6	三ツ木東原C遺跡	(有)毛野考古学研究所 常深 尚 高橋清文 春里桃子 志村 哲 有山径世 和久裕昭 山本千春 宮本久子 渡辺博子	令2.6.16 ～令3.2.26	平30.7.28 ～平31.3.25	旧石器石器集中地点4、縄文住居跡3・土坑21、古墳～平安住居跡17・掘立柱建物1・土坑64・井戸1
7	上落合七輿遺跡	(有)毛野考古学研究所 常深 尚 高橋清文 春里桃子 志村 哲 有山径世 和久裕昭 山本千春 宮本久子 渡辺博子	令2.6.16 ～令3.2.26	平30.7.28 ～平31.3.25	古墳～平安住居跡4、溝1、土坑7、ピット143
8	神田神明B遺跡C地点	(有)毛野考古学研究所 土井道昭 恋河内昭彦	令2.4.16 ～令2.3.19	令元.7.1 ～令2.5.15	古墳～中世住居跡84、掘立柱建物3、鍛冶炉跡1、土坑100、溝49、ピット2248
9	本郷山根B遺跡	市教委 針谷友規	平29.5.17 ～令3.3.23	平28.6.14 ～平28.7.28	古墳～近世住居跡28、溝3、土坑36、ピット529、井戸2
10	本郷山根B遺跡B地点	市教委 針谷友規	平29.5.17 ～令3.3.23	平29.7.6 ～平29.10.18	古墳住居跡35、土坑2、ピット42
11	本郷下郷C遺跡	市教委 針谷友規	平29.5.17 ～令3.3.23	平30.5.11 ～平30.11.19	古墳～近世溝8、土坑3、ピット15、畝3
12	本郷下郷B遺跡B区	市教委 針谷友規	平29.5.17 ～令3.3.23	平30.8.6 ～平30.12.28	古墳～近世住居跡49、掘立柱建物1、道状遺構1、溝3、土坑13、ピット157、畝2

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	とみおかし 富岡市 しせきおうとみおかせいしじょう 史跡旧富岡製糸場	市教委 清水 司 水谷貴之	令2.4.1 ～令3.3.31	令2.4.1 ～令3.3.31	近現代 西置繭所周囲・旧研究所跡・水溜跡・工女寄宿舎跡・病室跡・候門所跡・煉瓦造排水溝・土管・溝跡・便所15周圍便槽外部・診療所北建物跡・囲炉裏跡・煉瓦組燃焼施設・煉瓦組便槽・コンクリート便槽・乾燥場・藪扱場・レール・軌道跡・廃棄土坑
1	あんなかし 安中市 にしだい 西台Ⅰ・Ⅱ遺跡	市教委 鳥居貴庸	令2.4.1 ～令3.3.31	令元.8.1 ～令元.11.30	弥生～古代の竪穴建物跡23・土坑8・溝2
1	し みどり市 にしはら 西原遺跡第5地点	市教委 田口佳菜	令2.7.20 ～令3.3.31	令2.7.6 ～令2.7.17	古墳建物跡2・土坑8
2	やばた 谷端遺跡第5地点	市教委 田口佳菜	令2.8.31 ～令3.3.31	令2.8.24 ～令2.8.29	遺構なし
3	てんじん 天神遺跡第3地点	市教委 田口佳菜	令2.8.26 ～令3.3.31	令2.8.4 ～令2.8.25	古代建物跡1
4	てんじん 天神遺跡第4地点	市教委 田口佳菜	令2.9.14 ～令3.3.31	令2.8.24 ～令2.8.25	古代建物跡1
5	てんじん 天神遺跡第5地点	市教委 田口佳菜	令2.3.3 ～令3.3.31	令2.9.10 ～令2.9.11	遺構なし
6	てんじん 天神遺跡第1次本調査	市教委 田口佳菜	令2.12.7 ～令3.3.31	令2.8.19 ～令2.12.6	古代建物跡20・古代土坑54・柱穴状遺構36・井戸2・竪穴状遺構1・掘立柱建物1・江戸溝1
7	にしはら 西原遺跡第5地点本調査	市教委 田口佳菜	令3.3.2 ～令3.3.2	令3.2.4 ～令3.3.1	古墳建物跡2
1	きたぐんま けんしんとうむら 北群馬郡榛東村 とおかいち 十日市遺跡Ⅱ	(株)歴史の杜 笹井 彩	令2.10.9 ～令3.3.12	令2.9.15 ～令2.10.8	平安住居3・竪穴状遺構1・中世土坑墓2ほか
2	かやの 茅野遺跡	村教委 角田祥子	令2.4.1 ～令3.2.11	平元.7.28 ～平元.12.29 平2.9.20 ～平2.12.27	縄文住居19、縄文水場遺構1、縄文配石土坑12、縄文埋設土器4
1	かんら ぐんかんら まち 甘楽郡甘楽町 にいや 新屋遺跡	町教委 中村岳彦	令2.2.17 ～令2.6.10	令元.11.11 ～令2.2.13	縄文中期住居跡1、弥生中期土坑2・後期住居8、古墳後期住居18・土坑3、古代住居6
1	あがつまぐんながの はらまち 吾妻郡長野原町 かほ せきまつま じたいけい 勘場木石器時代住居跡	町教委 富田孝彦	平31.4.26 ～令3.3.19	平30.5.1 ～平30.12.27	縄文住居跡1
2	ちうない 町内遺跡	町教委 富田孝彦 高橋人夢	平31.4.8 ～令2.3.23	平31.4.8 ～令2.3.23	試掘確認調査
1	とねぐんしほ わむら 利根郡昭和村 いとみやの まさ 糸井宮ノ前遺跡	村教委 石北直樹	令2.4.1 ～令3.3.31	平7.9.20 ～平9.8.20	縄文住居5、土坑20、古墳住居35、古墳水田1、古代住居33、小鍛冶1、掘立柱6
1	むらぐんめい わまち 邑楽郡明和町 とごうたいなりつか 斗合田稲荷塚古墳	町教委 立川明浩	令2.4.1 ～令3.3.19	令2.1.6 ～令2.3.31	古墳1基

※群馬県埋蔵文化財調査事業団は「Ⅱ事業概要2 整理事業概要」参照

3 令和2年度群馬県内発掘調査報告書一覧

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
1	群馬県地域創生部文化財保護課 群馬県内公共開発に伴う平成31(令和 元)年度県内遺跡発掘調査報告書	県内遺跡	試掘・確認調査	令3.3.31
2	史跡上野国分寺跡第2期追加調査 報告書	上野国分寺跡	発掘調査	令3.1.29
1	群馬県埋蔵文化財調査事業団 四戸の古墳群	同左	弥生・竪穴建物13、土坑8 古墳・竪穴建物3、竪 穴状遺構3、掘立柱建物3、古墳3、ピット群12、 土坑12 古代・集石遺構8、土器集中1 中世・土 壙墓2、土坑2、畠4	令2.10.16
2	西宮遺跡(2)・川原畑の宝篋 印塔	西宮遺跡・川原畑の宝篋 印塔	<西宮遺跡>天明朝復旧坑、天明朝建物21、畑129、 掘立柱建物8、小竪穴1、土坑、集石、焼土、埋甕 <川原畑の宝篋印塔>川原畑諏訪神社本殿、拜殿、 宝篋印塔跡	令2.10.10
3	石川原遺跡(2)	同左	中近世・掘立柱建物9、柵4、石積み1、道1、焼 土22、土坑443、ピット210、墓坑15、鍛冶遺構1、 炭窯1、畑42、水田33、復旧坑13、石列1、溝17 平安時代・竪穴建物62、柵2、焼土28、土坑293、ピッ ト274、鍛冶遺構2	令2.12.23
4	唐堀遺跡(1)-古墳時代以降編-	同左	近世建物7・畑20・石垣9・道9・井戸2・土坑2 近世石造物を据えるための台座6	令3.2.10
5	前橋市0149遺跡	同左	古墳・溝1 古代・畠2 中世・土坑8、ピット10、溝 2	令3.1.22
6	八ッ場ダム発掘調査集成(2)	尾坂遺跡・町遺跡・東原 II遺跡・横壁中村遺跡・ 川原湯勝沼遺跡・下湯原 遺跡・西宮遺跡・西久保 IV遺跡・上原II遺跡	<尾坂遺跡>近世・石垣1<町遺跡>近世・畑1< 東原II遺跡>平安時代以前・土坑12、近世以前・土 坑1、古代・ピット33、時代不明・焼土遺構1<横 壁中村遺跡>縄文時代以降・掘立柱建物1、土坑3、 ピット1、柵1、礫集中1<川原湯勝沼遺跡>近世・ 道4、畑18 中近世・道1、畑3 近世以前・土坑 17、ピット4<下湯原遺跡>近世・道2、溝6、畑 36、礎石建物1 近世以前・竪穴建物3、掘立柱建 物22、竪穴状遺構3、焼土遺構5、溝11、柵2、土 坑99、土坑墓6、ピット338<西宮遺跡>近世(天明 3年)屋敷1、道6、畑24、溝1 近世・礎石建物1、 道2、畑4 近世以前・掘立柱建物1、溝4、水田2、 畑1、土坑23、ピット55<西久保IV遺跡>近世・道2、 畑1 近世以前・掘立柱建物1、溝5、土坑19、ピッ ト15<上原II遺跡>遺構なし	令3.3.10
7	東宮遺跡(5)・三ッ堂岩陰	東宮遺跡・三ッ堂岩陰	<東宮遺跡>縄文・竪穴建物92、土坑、列石7、配 石30、配石土坑2、焼土8、中近世・土坑、ピット、 焼土 近世・建物6、石垣6、道1、暗渠2、切り 石石組遺構1、水場遺構1、畑4<三ッ堂岩陰>遺 構なし	令3.3.24
8	二社平遺跡・石畑遺跡・石畑I岩陰	二社平遺跡・石畑遺跡・ 石畑I岩陰	<二社平遺跡>縄文(前・後)・遺構なし 近世・土 坑1、畑<石畑遺跡>縄文(前)遺構なし 近世・畑 9、石垣、ヤックラ2<石畑I岩陰>縄文・焼土1 縄文~古墳・溝1 弥生・土坑1 古墳・遺構な し 古代~中世・灰層3 近世・道4、畑4、灰層 8	令3.3.23
9	東宮遺跡(6)	同左	縄文・竪穴建物37、竪穴状遺構2、土坑130、埋設 土器6、列石遺構6、配石遺構18 近世・土坑9	令3.3.23
10	唐堀C遺跡	同左	縄文時代前期・竪穴建物1、土坑5 古代・掘立柱 建物1、竪穴建物38、ピット77 中近世・畑5、 竪穴状遺構2、溝8、土坑229、ピット313	令3.3.19
11	吉ヶ谷津遺跡(安中市0201遺跡)	同左	古墳・墳墓、集落 奈良・平安時代・畑 中世・水田 江戸時代・灌漑用水施設、墓	令3.3.19

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
12	まえはしし 前橋市0107遺跡	同左	古墳・竪穴建物36、竪穴状遺構1、掘立柱建物1、 柵2、ピット1、集石2 古墳時代以降・土坑70、 溝4 古代・竪穴建物15、竪穴状遺構2、土坑7、ピッ ト95、井戸2、溝27、遺物集中1 中世以降・土坑 25、ピット91、墓壇4、井戸9、溝17、畠1	令3.3.19
13	たかまきけいぼじょう 高崎競馬場遺跡(1)	高崎競馬場遺跡・岩押町 遺跡	<高崎競馬場遺跡>弥生・環濠 竪穴建物57、掘立 柱建物3、井戸25、墓壇7、土坑65、柵1、溝9以上、 河川跡1 古墳・井戸6、土坑20以上、畠<岩押町 遺跡4>古墳~古代・溝6	令3.3.19
14	たかまきけいぼじょう 高崎競馬場遺跡(2)	高崎競馬場遺跡・岩押町 遺跡	<高崎競馬場遺跡>平安・道1、水田区画350以上 中世~近世以降-環濠屋敷2、掘立柱建物32、溝 235、道2、井戸33、集石1、土坑322、ピット1006、 畠101、復旧坑19、方形区画1、倉賀野堰1<岩押 町遺跡3>平安・水田区画6 中世~近世以降・土 坑1<岩押町遺跡4>平安・水田区画32 中世・火 葬土坑1 近世以降-溝4(うち1つ倉賀野堰)、畠 1	令3.3.19
15	かないしもんぜん 金井下新田遺跡-縄文時代・弥生時代編 -	同左	縄文・竪穴建物46、土坑312 弥生・竪穴建物8、 木棺礫床墓10、土坑24 古墳・竪穴建物76、掘立柱 建物11、平地建物7、囲い状遺構1、祭祀遺構7、 土坑43 近世・土坑74	令3.3.25
16	かないしもんぜん 金井下新田遺跡-古墳時代以降編-	同左	縄文・竪穴建物46、土坑312 弥生・竪穴建物8、 木棺礫床墓10、土坑24 古墳・竪穴建物76、掘立柱 建物11、平地建物7、囲い状遺構1、祭祀遺構7、 土坑43 近世・土坑74	令3.3.23
17	こめやま 米山遺跡	同左	縄文・土坑2、ピット1、埋甕1 弥生・土坑3 古墳・竪穴建物42 古代・竪穴建物182、掘立柱建 物1、竪穴状遺構8、溝9、土坑58、ピット210 中近世・溝8、井戸8、復旧坑35、土坑104、ピッ ト108、畑1	令3.3.24
18	なかごしよ 中御所遺跡	同左	平安・竪穴建物8、竪穴状遺構8、溝10、土坑1、 ピット3 中近世・掘立柱建物4、竪穴状遺構2、 溝4、井戸3、土坑6、ピット4 縄文ピット1 時期不明 ピット列4、溝8、井戸1、土坑31、ピッ ト142	令3.3.23
1	まえはしし 前橋市 推定上野国府 令和元年度調査報告	上野国府	古代礎石建物跡、古代溝跡、古代粘土探掘坑、平安 住居跡	令3.3.19
2	もとそうじやおうみ 元総社蒼海遺跡群(140)	同左	古墳・平安住居跡、中世蒼海城堀跡	令3.3.16
3	もとそうじやおうみ 元総社蒼海遺跡群(141)	同左	古墳・飛鳥・平安住居跡、奈良・平安道路状遺構	令2.10.30
4	もとそうじやおうみ 元総社蒼海遺跡群(145)	同左	古墳・平安住居跡、平安竪穴状遺構、小金銅仏出土	令3.3.24
5	もとそうじやおうみ 元総社蒼海遺跡群(75街区)No.2	同左	古墳・平安住居跡、工房跡、鋳型・取瓶・埴塼出土	令2.10.30
6	せいぶだいいち 西部第一落合遺跡群(1)	同左	平安住居跡、古代~中世溝・堀跡	令2.10.30
7	もとそうじやおうみ 元総社北小学校遺跡	同左	弥生・古墳・奈良・平安住居跡、中世道路状遺構	令3.1.29
8	いけはた やしきこうじ 池端屋敷小路遺跡	同左	古墳周堀、平安土坑、近世溝跡	令2.7.30
9	たぐちたきのまい 田口滝ノ前遺跡	同左	As-B軽石下水田、Hr-FA洪水層下水田	令2.9.30
10	かみいけしもんなかみね 上泉下中峯遺跡	同左	奈良・平安住居跡、奈良掘立柱建物、縄文・奈良土 坑	令3.3.15
11	あさくらかみくさ 朝倉上廊遺跡	同左	奈良・平安住居跡、溝跡(大型の溝跡含)	令3.3.19
12	かわらけりやまぼし 川曲柳橋IV遺跡	同左	平安水田跡	令2.7.31
13	そうじやうらくじまわりぼどう 総社昌楽寺廻窪道遺跡No.2	同左	古墳・平安住居跡、溝跡	令2.7.31
1	たかまきし 高崎市 金古町遺跡3	同左	古代竪穴建物9、掘立柱建物2、溝1	令2.3.31
2	なかいずみ 中泉源十内遺跡	同左	古代竪穴建物3、掘立柱建物1、中世掘立柱建物1	令2.6.15
3	やなかののり 矢中野栗遺跡	同左	古代水田、溝2、ピット1	令2.6.30
4	おおやぎてら 大八木寺東遺跡	同左	弥生~古代竪穴建物101、古墳方形周溝墓、古代溝 3	令2.7.31

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
5	かみたきしんぼりきた 上滝新堀北遺跡	同左	古代竪穴建物7、井戸2、溝9、土坑・ピット多数	令2.8.21
6	すがやむらひら 菅谷村東遺跡第6次	同左	古代竪穴建物4、土坑4、溝1	令2.11.30
7	なかばやし 中林遺跡2	同左	縄文土坑1、古代溝、中世溝1、土坑2	令3.3.26
8	しな 市内遺跡	同左	市内確認・試掘調査、工事立会	令3.3.26
9	しもこぼなやしきうら 下小堀屋敷裏遺跡・多比良壺ツ家遺跡	同左	古墳-古代竪穴建物28、溝7、土坑18	令3.3.29
10	たごんしやう 多胡郡正倉跡2	たごひしやへん 多胡碑周辺遺跡	古代竪穴建物1、溝2、土坑2	令3.3.29
11	わたぬきつらにし 綿貫堤西遺跡	同左	古代水田、溝1、中世土坑2	令3.3.31
12	わかたさかうえ 若田坂上遺跡	同左	縄文竪穴建物、土坑、ピット、弥生竪穴建物、礫床墓、土器棺墓、古墳竪穴建物、土坑墓、石槨墓、古代竪穴建物、中近世島	令3.3.31
13	え、すひらしまえおき 江木東前沖遺跡	同左	古代溝、掘立柱建物跡	平30.3.26
14	いのやしきぞえ 井野屋敷添遺跡	同左	古代水田跡、中世土坑	平30.3.30
15	すがやなかにし 菅谷中西遺跡	同左	中世溝3、土坑2、ピット4	平30.3.30
16	わかたさかうえ 若田坂上遺跡2	同左	近世石積遺構	平30.3.31
17	ほんごうたなか 本郷田中遺跡	同左	古墳土坑40	平30.3.31
1	伊勢崎市 喜多町遺跡4	同左	古墳前方後方形周溝墓1、竪穴建物2、中世溝47、縄文土坑1、近現代土坑27、近世井戸8	令2.12.25
2	へいせい 平成30年度市内遺跡確認調査報告書	上諏訪町遺跡外57遺跡	確認調査など	令3.3.26
1	おおたし 太田市 市内遺跡16	同左	令和元年度の市内遺跡確認調査	令2.3.19
2	きたのじやう 北之庄遺跡	同左	鉄塔建設	令2.3.31
3	きたのじやう 北之庄遺跡	同左	小学校校舎・給食室建替工事に伴う発掘調査	令2.3.31
1	たてばやし 館林市 第58集 館林市内 遺跡発掘調査報告書	ひろうちま 広内町1遺跡 まぼり 間堀1遺跡 きたこま 北小袋遺跡 おおかいどう 大街道遺跡 たてばやし 館林城跡・城下町 おおかろ 大袋1遺跡 てんじん 天神遺跡 たてばやし 館林城跡・城下町、尾曳 ちよう 町2遺跡	溝3 土坑12 炭焼き窯1、土坑6 土坑1 竪穴建物址1、焼成土坑1 — 溝3、土坑2 下級武士長屋跡、溝8、土坑6	令3.3.1
1	しんかわし 澁川市 白井尖野遺跡	同左	後期古墳1、平安竪穴建物1、土坑10	令3.3.31
1	しんかわし 澁川市内遺跡14	いしはらひら 石原東遺跡A区 はんたやくし 半田薬師遺跡群 たなか 田中遺跡 まかべよりい 真壁の寄居 K0038遺跡 はんたやくし 半田薬師遺跡群 H0014遺跡 なかごうち 中郷地内 なかすじ 中筋遺跡群 うしろた 後田遺跡群 しろいまたなみち 白井北中道遺跡 ありまてらばやし 有馬寺畑遺跡 はんたやくし 半田薬師遺跡群 からさわ 空沢遺跡F地点 ありまてらばやし 有馬堂山古墳群	令和元年度市内遺跡範囲確認調査・試掘調査報告	令3.3.26
1	ふじおかし 藤岡市 大林E遺跡	同左	北部環状線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	令2.12.28
2	おおばやし 大林E遺跡	同左	市道4732号線交差点改良事業に伴う発掘調査	令3.1.29

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
3	おおばやし 大林F遺跡	同左	ホンダカーズ群馬藤岡店新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	令3.1.29
4	みつぎのりほら 三ツ木東原C遺跡	同左	毛野国白石丘陵公園公園外周道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	令3.2.26
5	みつぎのりほら 三ツ木東原B遺跡	同左	毛野国白石丘陵公園公園園路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	令3.2.26
6	しな 市内遺跡27		令和2年度市内開発に伴う試掘確認調査	令3.3.12
7	しんめい 神明B遺跡C地点	同左	藤岡市防災公園造成に伴う埋蔵文化財発掘調査	令3.3.19
8	さきがわ 笹川沿岸地区遺跡群(本郷下郷C遺跡、本郷下郷B遺跡B区、本郷山根B遺跡、本郷山根B遺跡B地点)発掘調査報告書	同左	県営農業競争力強化農地整備事業笹川沿岸地区に伴う発掘調査	令3.3.19
1	とみかかし 富岡市 国宝旧富岡製糸場西置繭所保存修理工事報告書【発掘調査編】	旧富岡製糸場	煉瓦組遺構、埋設土管、整地・造成面	令2.8.31
2	しせき 史跡旧富岡製糸場建造物等保存整備関係調査報告書1社宅76内部	旧富岡製糸場	造成面、建造物基礎地業、礎石・東石基礎地業、炉基礎痕跡、石列、土坑7	令3.1.29
3	しせき 史跡旧富岡製糸場建造物等保存整備関係調査報告書2社宅85内部	旧富岡製糸場	造成面、建造物基礎地業、礎石・東石基礎地業、炉基礎痕跡、石列、土坑	令3.3.22
1	みどり市 みどり市内遺跡10	あざみ 阿左美遺跡第31地点 おほた 大畑遺跡第2地点 どうざん 銅山道東A遺跡第1地点 よし 吉ノ入遺跡第1地点 とらくぼ 寅久保遺跡第1地点 いぬめ 犬目遺跡第1地点 もとやしき 元屋敷遺跡第13地点 いなりやま 稲荷山V遺跡第4地点 かかわ 鹿の川遺跡第5地点 あざみ 阿左美沼北遺跡第3地点 てんじん 天神遺跡第1地点 てんじん 天神遺跡第2地点 むらやま 向山遺跡第8地点 むらやま 向山遺跡第9地点 むらやま 向山遺跡第10地点 しみずきたぐち 清水北口遺跡第3地点 しゅうち 周知の包蔵地外	縄文土坑1 遺構なし 遺構なし 遺構なし 遺構なし 縄文建物2・土坑1・柱穴状遺構2 中近世竪穴遺遺1・柱穴状遺構64・長方形土坑1 遺構なし 縄文土坑2・古代建物1・柱穴状遺構5 縄文土坑1・平安建物3・土1・柱穴状遺構13 平安建物6・土坑7・柱穴状遺構44 縄文建物5・土坑及び柱穴状遺構100以上 縄文建物4・土坑34以上・柱穴状遺構42以上 縄文建物2・土坑8以上・柱穴状遺構27以上 縄文建物1・土坑3 遺構なし	令3.3.26
1	きたぐん 北群馬郡榛東村 しせき 史跡 茅野遺跡 (二) 遺物編	同左	縄文(土器・石器・土製耳飾り・土偶・土版・手燭形土製品・岩版・玉・石棒・石剣・独鈷石)、弥生土器	令3.2.11
2	とおか 十日市遺跡II	同左	平安竪穴建物3・竪穴状遺構1、中世土坑墓2ほか	令3.3.10
1	かんら 甘楽郡下仁田町 ごんこうが 金剛萱遺跡の旧石器文化6-2020-	同左	金剛萱遺跡研究会が実施した旧石器時代の遺跡調査に関わる報告書。 後期旧石器時代前半期の石器19点が出土。	令3.3.31
2	あらね 荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書10	同左	2011~2019年度にかけて実施した遺構確認調査をまとめた総括報告書。	
1	かんら 甘楽郡甘楽町 にいや 新屋遺跡	同左	縄文中期竪穴建物1、弥生中期土坑2・後期竪穴建物8、古墳後期竪穴建物18・土坑3、古代竪穴建物6	令2.6.30
1	あがつま 吾妻郡長野原町 ぐんま 群馬県指定史跡 勘場木石器時代住居跡	勘場木遺跡	保存修理事業報告書	令3.2.26
2	ちうない 町内遺跡20	かな 観奈遺跡II	平成31(令和元)年度緊急発掘調査報告書	令3.2.26

群馬県内報告書一覧

付
篇

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
1	利根郡川場村 大神宿原遺跡 川場村宮上宿原土地改良事業に伴う埋 蔵文化財発掘調査	同左	弥生建物、土器、石器	令3.1.29
1	邑楽郡明和町 斗合田稲荷塚古墳	同左	開発行為に伴う記録保存	令3.3.10

3 令和2年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事など一覧

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	前橋市 上細井中西部遺跡群No.3 現地説明会	上細井地内発掘現場 プレハブ事務所、 発掘現場	令2.10.11	市教委	発掘された遺物の展示と解説。発掘現場 の見学	60
2	新出土文化財展2020	臨江閣 1階 西 洋間	令2.11.10 ～令2.11.23	市教委	令和元年度発掘調査における出土品の展 示	2,952
3	前橋城大手門石垣現地説 明会	本町一丁目地内	令3.2.15	市教委	酒井雅楽頭時代の前橋城大手門石垣の解 説	250
4	「大室古墳(つか)の語り 部」による古墳案内	大室公園・ 大室古墳群	令2.4.1 ほか21回	市教委	市民ボランティア解説員による大室古墳 群案内	360
5	愛宕山古墳現地説明会	総社町総社地内	令3.2.14 ほか1回	市教委	愛宕山古墳の調査状況の解説	259
6	「三角縁神獣鏡」をチョコ レートで铸込む	総社庁舎	令2.2.13 令2.2.14	市教委	鏡形のチョコレート作りと古墳時代の鏡 についての講話	31
1	高崎市 上野国分尼寺跡発掘調査 展示会	かみつけの里博物 館	令2.9.5 ～令2.9.27	市教委	出土品、写真パネルの展示	約250
2	多胡碑周辺遺跡発掘調査 展示会	多胡碑記念館	令2.10.10 ～令2.10.25	市教委	出土品、写真パネルの展示	約150
3	前橋・高崎連携事業文化 財展	高崎シティギャラ リー	令3.1.10 ～令3.1.24	前橋市教委 高崎市教委	令和2年度テーマ「発掘調査最前線―東 国文化の中心地を掘ってみよう―」	417
1	伊勢崎市 パネル展―宮柴前遺跡―	市清掃リサイクル センター 21	令2.4.1 ～令3.3.31	市教委	天明3年の浅間山大噴火により埋没した 水田、畑、水路、人の足跡などの写真パ ネルを展示	
2	埋蔵文化財パネル展「伊 勢崎市の遺跡・古墳時代 編」	伊勢崎駅前イン フォメーションセ ンター	令2.10.2 ～令2.10.18	市教委	赤堀茶白山古墳、お富士山古墳、原之城遺 跡のパネルを展示	1,200
3	埋蔵文化財パネル展「伊 勢崎市の遺跡・古墳時代 編」	市民サービスセン ター宮子	令2.10.26 ～令2.11.23	市教委	赤堀茶白山古墳、お富士山古墳、原之城遺 跡のパネルを展示	960
4	埋蔵文化財パネル展「伊 勢崎市の遺跡・古墳時代 編」	赤堀歴史民俗資料 館	令3.1.9 ～令3.1.28	市教委	赤堀茶白山古墳、お富士山古墳、原之城遺 跡のパネルを展示	3,916
5	埋蔵文化財パネル展「伊 勢崎市の遺跡・古墳時代 編」	市役所東館 1 F 市 民ホール	令3.2.1 ～令3.2.10	市教委	赤堀茶白山古墳、お富士山古墳、原之城遺 跡のパネルを展示	341
1	太田市 出前考古学教室	太田市立太田中学 校	令2.7.20 ～令2.7.22	市教委	市内出土遺物の展示	209
2	埋蔵文化財最新情報展	史跡金山城跡ガイ ダンス施設	令3.2.20 ～令3.3.21	市教委	石と祈りのムラ ～おた渡良瀬産業団 地発掘調査～	2986
1	沼田市 沼田城跡発掘調査現地説 明会	沼田市西倉内町	令2.9.6	市教委	発掘調査現地説明会	285
1	渋川市 夏休み子ども文化財教室	渋川市埋蔵文化財 センター	令2.8.17 ～令2.8.22	市教委	古墳時代の装身具づくり	161
1	藤岡市 夏季企画展「ふじおか火 の生活史」	藤岡歴史館	令2.7.23 ～令2.9.6	市教委	縄文時代から現代にいたるまでの生活の 歴史を「火」を通じて振り返る展示	1804
2	牛田・川除地区遺跡群現 地説明会	藤岡市牛田	令2.10.25	市教委	発掘調査実施中の牛田・川除地区遺跡群 の現地説明会	42
3	牛田・川除地区遺跡群現 地説明会	藤岡市牛田	令2.11.8	市教委	発掘調査実施中の牛田・川除地区遺跡群 の現地説明会	65
4	春季企画展「未来に伝え る藤岡の歴史」	藤岡歴史館	令3.3.6 ～令3.5.9	市教委	新市指定史跡や高山社の石垣修復工事な ど、令和2年度までに実施された事業の 最新成果を紹介する展示	2,559

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	とみわかし 富岡市 近代化遺産歴史ウォーク	一ノ宮地内外	令2.11.23	市教委	市内にある身近な文化財を歩き訪ねて、文化財愛護の普及と活用を図り、地域の歴史や文化財への理解を深めてもらう。	3,191
2	富岡製糸場出土品特別展	富岡製糸場西置繭所多目的ホール	令2.12.24 ～令3.1.17	市教委	富岡製糸場発掘調査出土品・調査写真パネル・説明パネルの展示、発掘調査スライドショー上映	4,716
3	富岡市内出土品展	市立美術博物館・福沢一郎記念美術館	令3.2.5 ～令3.2.14	市教委	令和2年度の市内の発掘調査及び整理作業の速報展	520
4	史跡中高瀬観音山遺跡発掘調査 現地説明会	中高瀬観音山遺跡	令3.3.21	市教委	トレンチ調査により確認された方形周溝墓・溝の見学、出土品の展示、解説	38
1	みどり市 第71回企画展『華開く！ ぐんまの縄文文化』	岩宿博物館企画展示室	令2.5.29 ～令2.7.12	市教委 (岩宿博物館)	縄文時代の中期中頃から後半にかけての最も装飾性が豊かな群馬県内の土器を展示した。	1,321
2	第72回企画展『岩宿時代の円形のムラー環状ブロック群PartⅡ』	岩宿博物館企画展示室	令2.10.3 ～令3.11.23	市教委 (岩宿博物館)	環状ブロック群が集中した北関東地方と下総台地の最新の資料を加えた展示を行った。	3,390
3	第73回企画展『赤城山麓に人類の足跡を求めて ー相澤忠洋とその関連遺跡ー』	岩宿博物館企画展示室	令3.3.9 ～令3.5.9	市教委 (岩宿博物館)、 相澤忠洋記念館	相澤忠洋が調査した赤城山麓の遺跡を、相澤資料の整理状況とともに展示した。	2,635
1	とみぐんたまむらまち 佐波郡玉村町 埴輪作り教室	玉村町文化センター	令2.7.11、 令2.7.18	町教委 (玉村町歴史資料館)	小学生対象作品制作(7.11、7.18)作品展示(8.18～8.23)	32
2	勾玉作り教室	玉村町文化センター	令2.8.4	町教委 (玉村町歴史資料館)	小学生対象勾玉作り教室	24
3	アングイン編み教室	玉村町文化センター	令2.8.19	町教委 (玉村町歴史資料館)	小学生対象アングイン編み教室	14
4	玉村ふるさとわくわくスタンプラリー	玉村町歴史資料館	令2.7.4～ 令2.8.30、 令3.2.4 ～令3.3.28	町教委 (玉村町歴史資料館)	玉村町内郷土芸能と歴史資料館・道の駅玉村宿をめぐるスタンプラリー、横樽音頭以外の郷土芸能は中止のため、歴史資料館内で押印	—
5	アングイン編み教室	玉村町文化センター	令3.1.30	町教委 (玉村町歴史資料館)	一般対象アングイン編み教室	5

※群馬県埋蔵文化財調査事業団は「Ⅱ事業概要3普及事業概要」参照

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報40

令和4(2022)年2月28日 発行

編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 渋川市北橘町下箱田784番地2

電話 0279-52-2511(代表)

URL <http://www.gunmaibun.org/>